

# Panasonic

デジタルコンパクトカセットデッキ

品番 RS-DC10

取扱説明書



DIGITAL  
**dcc**  
COMPACT CASSETTE

このたびはデジタルコンパクトカセットデッキをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使うと上手に節電

011D851010  
F0992K0

# 必ずお守りください

## 電源は、AC(交流)100Vで



電源コードは正しく取り扱ってください。  
取り扱いを誤ると危険です。

- プラグを持つ
- ぬれた手でさわらない
- 重いものを載せない
- 無理に曲げない

## 加工・改造・異物の挿入はしない



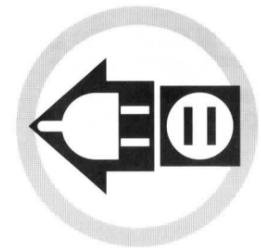
感電や故障の原因になります。特にお子様にはご注意ください。

## 水・薬品はかからないように



引火、火災や感電の恐れがあります。  
また、本機の上に可燃性ガスの入ったヘアースプレーなどを置かないでください。

## 長期間使用しないときは



思わぬ事故を避けるため、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

## 消磁機は使用しない



アナログカセットデッキ用の消磁機を使用すると、ヘッド部を破損しますので絶対に使用しないでください。

## 設置は安定した、風通しのよい所に



故障の原因になりますので、次のような所は、避けてください。

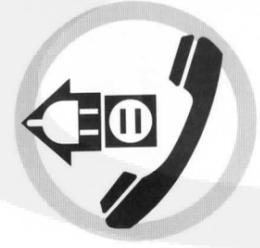
- 湿気の多い所
- 倉庫などほこりの多い所
- 直射日光の当る所など温度が高い所

## 放熱穴はふさがない



内部の温度が上がり、危険です。  
(本機の放熱穴は天面にあります。)

## 万一、故障が起きたら



電源コードを抜き、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機のヘッド部を掃除するときは、必ず別売りのクリーニングテープをご使用ください。

## 本機の取り扱いについて

- カセットトレイは必ず閉じておいてください。
- 長期間使用しないときは、カセットテープを取り出しておいてください。
- 本機の天面は放熱のため熱くなりますが、異常ではありません。
- 持ち運び、保管の際は、強いショックを与えないように、ていねいに取り扱いってください。

## 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット  
シンボルマーク

# 本機の特長

DCCシステムは次のような特長を備えています。

## 1 デジタル高音質の実現

ヒスノイズ、ワウ・フラッタ、ひずみなどを原理的に追放し、CDに迫る高音質の録音/再生ができます。

## 2 従来のアナログカセットテープとの 上位互換性

現行のアナログ入力で録音されたカセットテープも再生できるので、お手持ちのソフト資産を活かすことができます。

## 3 デジタルが実現した高度で容易な使用感

市販のDCCミュージックテープではアルバム名、曲名などの文字情報がディスプレイ表示できます。

## 4 音楽を聴く喜びと楽しみをさらに高める

DCCテープは、大きなラベル用スペースを設けた斬新なデザインを採用。ワンタッチでカセットケースから取り出せます。

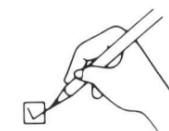
また、カセットテープは従来とほぼ同様の大きさ・厚みで、取り扱い易さに優れています。

### 表記上のご注意

従来のカセットテープ(コンパクトカセットテープ)とDCCテープ(デジタル・コンパクト・カセットテープ)を区別するため、本書では従来のカセットテープをアナログカセットまたはアナログカセットテープと表記しています。

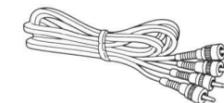
アナログカセットテープは再生専用です。  
テープに録音するときは、録音用DCCテープをご使用ください。

# 付属品



設置/接続の前に  
まず付属品を確かめてください。

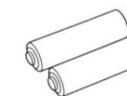
ステレオピンコード (2本)



リモコン発信器  
(DC10/EURZK011D001)



リモコン用乾電池 (2コ)



準備

接続のしかた ..... 6

- デジタル接続 ..... 6
- アナログ接続 ..... 7

リモコン操作の準備 ..... 8

DCCテープについて ..... 9

各部のなまえとはたらき ..... 10

- 操作部 ..... 10
- ディスプレイ部 ..... 11

DCCテープの再生

DCCテープを再生する ..... 12

ディスプレイ表示について ..... 14

- カウンタ表示 ..... 14
- テキスト情報の表示 ..... 15

本体での便利な再生機能 ..... 16

- テープを巻戻し・早送りする ..... 16
- 好みの曲へとび越す（スキップ選曲） ..... 16
- 演奏中の曲の頭から聞き直す（リプレイ機能） ..... 16
- 曲のタイトルで選曲する（タイトルサーチ） ..... 17
- 繰り返し再生する（リピート再生） ..... 17
- テープの走行面を切り換える（リバース機能） ..... 17

リモコンでの便利な再生機能 ..... 18

- 好みの曲番から再生する（ダイレクト再生） ..... 18
- 曲のイントロを再生する（ミュージック・スキャン） ..... 19
- 出力レベルを調整する ..... 19

アナログカセットテープの再生

アナログカセットテープを再生する ..... 20

- テープの走行面を切り換える（リバース機能） ..... 21
- ドルビーNRを設定するには ..... 21
- テープを巻戻し・早送りする ..... 22
- 曲の頭出しをする（TPS機能） ..... 22
- 演奏中の曲の頭から聞き直す（リプレイ機能） ..... 22
- 繰り返し再生する（リピート再生） ..... 23
- クイックリバース機能 ..... 23

録音 (DCCのみ)

デジタル入力で録音する ..... 24

- テープの始めから録音する ..... 24
- 曲番を記録するには ..... 25

アナログ入力で録音する ..... 27

- テープの始めから録音する ..... 27
- 録音レベルを調整するには ..... 28

録音 (DCCのみ)

いろいろな録音のしかた ..... 29

- 無音部をつくる ..... 29
- 録音を始めたい位置に無音部をつくる ..... 29
- 録音中に無音部をつくる ..... 29
- テープの途中から録音する（つなぎ録音） ..... 30

マーカ編集 (DCCのみ)

編集用サブコードの種類とはたらき ..... 32

- スタートマーカと曲番 ..... 32
- スタートマーカと曲番の編集 ..... 32
- 編集用マーカ ..... 33
- 絶対時間とつなぎ録音 ..... 33
- 時間表示 ..... 33

録音時のマーカ編集 ..... 34

- テープ面を切換えて録音する（リバースマーカ） ..... 34
- 1. 録音中に記録する ..... 34
- 2. 録音待機状態で記録する ..... 34
- テープの両面に続けて録音する（ネクストマーカ） ..... 35
- ネクストマーカを記録するには ..... 35

録音後のマーカ編集 ..... 36

- スタートマーカを手動で記録する ..... 36
- 記録されたマーカを消去する ..... 37
- スタートマーカ（曲番）の消去 ..... 37
- 編集用マーカの消去 ..... 37
- 編集したスタートマーカに通し番号を付ける（リナンバー） ..... 38
- リナンバー動作について ..... 39

タイマー操作 (共通)

タイマー再生/録音する ..... 40

- タイマー再生する ..... 40
- タイマー録音する ..... 41

リモコン操作 (共通)

リモコン操作早見表 ..... 42

- 共通操作 ..... 42
- 再生 ..... 42
- 録音 ..... 43
- 編集 ..... 43

知っておいてください

故障!? かな ..... 44

お手入れのしかた ..... 45

アフターサービスについて ..... 45

定格 ..... 46

解説

SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム） ..... 47

準備

再生

録音

編集

リモコン

て知って  
ください

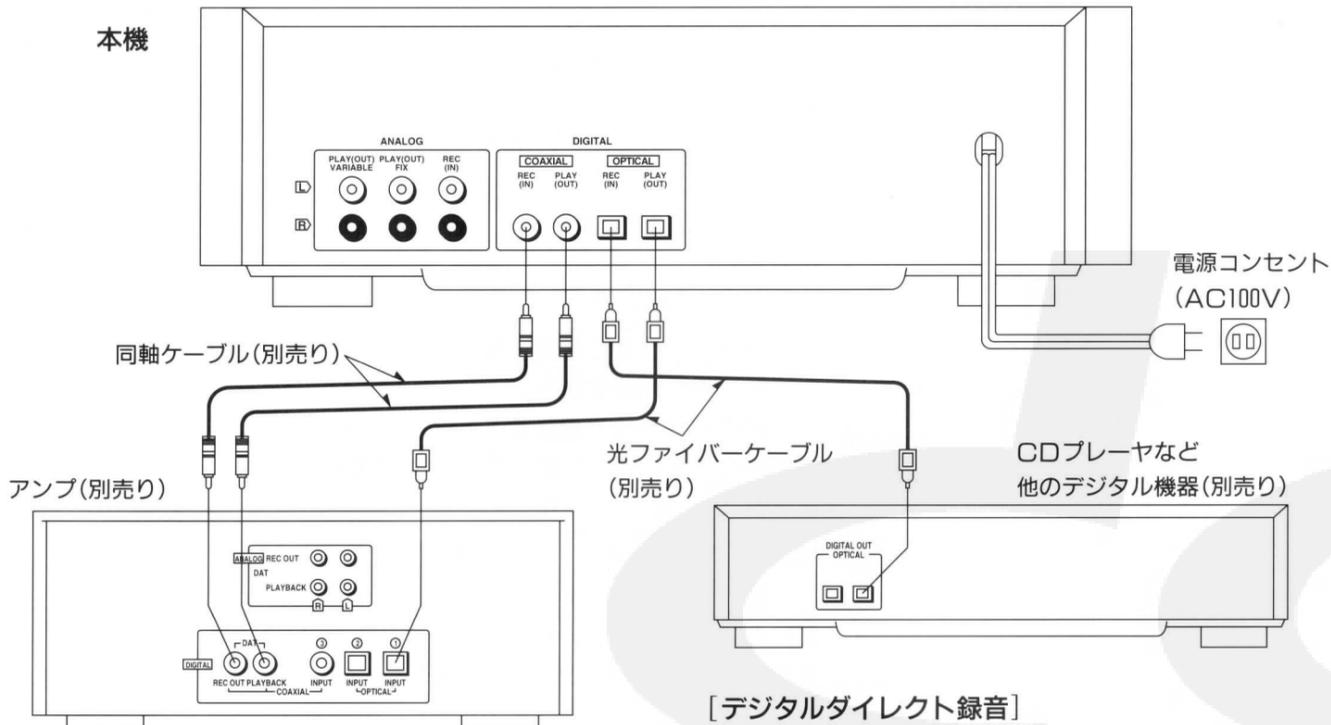
解説

5

- 必ず各機器の電源を切って接続してください。
- 電源コードの接続は、全ての接続が終わった後に行ってください。
- 下記の接続は一例です。詳しくは、他の機器の説明書も併せてご覧ください。

## デジタル接続

デジタル接続には、本機とデジタルアンプを接続する方法と、本機と他のデジタル機器を直接接続する方法があります。



**[デジタルダイレクト録音]**  
 本機とCDプレーヤなどの他のデジタル機器を直接接続してデジタル信号のまま録音することができます。(47ページの“SCMS”を参照。)

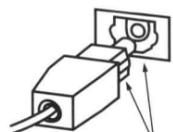
## 光ファイバーケーブルについて

光ファイバーケーブルを接続するには

- ①端子から防塵キャップを取り外す。
- ②ケーブルを接続する。



防塵キャップ



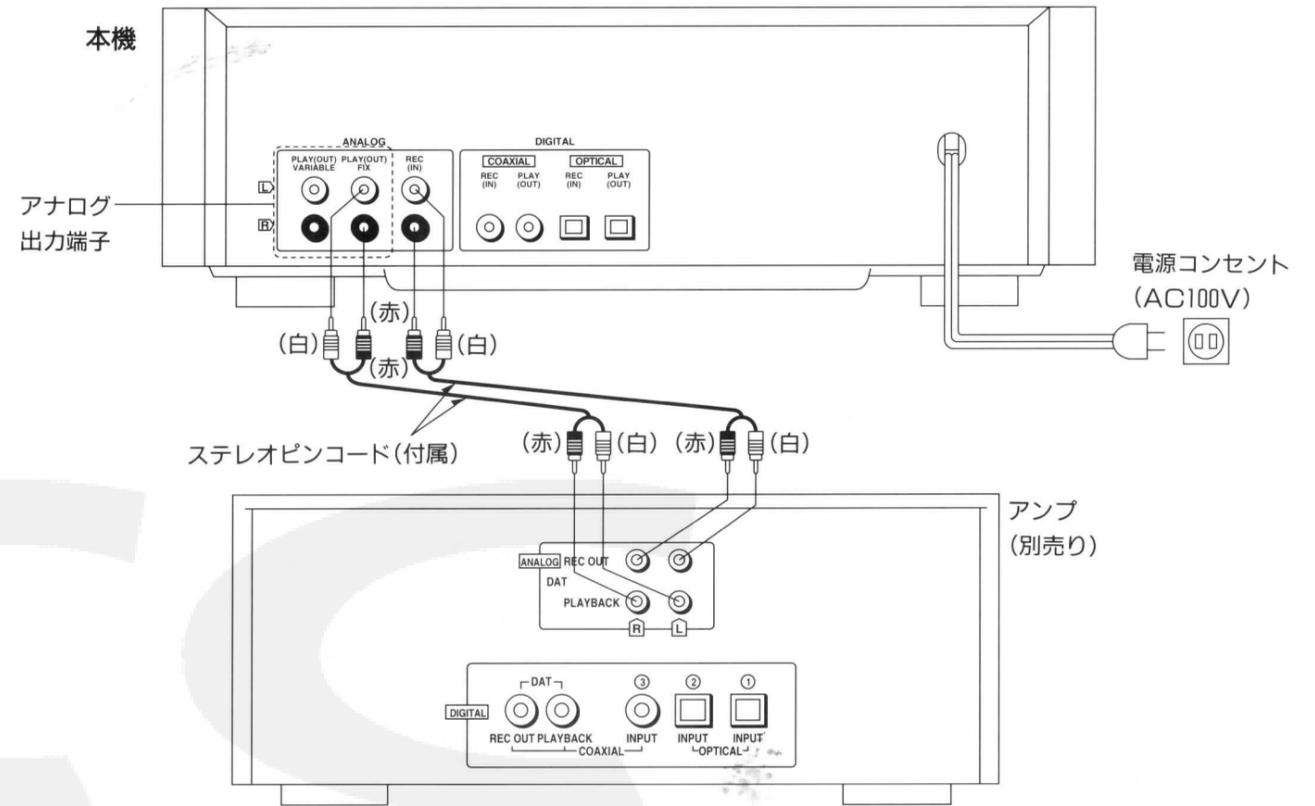
形状を合わせる

### ご注意

- 光ファイバーケーブルは、急な角度で折り曲げないでください。
- 接続は、しっかりと行ってください。
- 防塵キャップは紛失しないよう保管し、輸送時など、これらの端子をご使用にならないときは、再び取り付けておいてください。端子内にほこりなどが入ると、誤動作する場合があります。

**オプティカル OPTICAL 端子について**  
 光コネクタ端子で、電気信号を光信号に変換して伝送するために外部からの電氣的ノイズの影響を受けず、高品位なデジタルオーディオ信号を伝送することが可能です。

## アナログ接続



## 本機のアナログ出力端子への接続

本機は、次の2種類のアナログ出力端子を内蔵しています。付属のステレオピンコードでどちらかの端子に接続してください。

### 固定出力端子 (FIX)

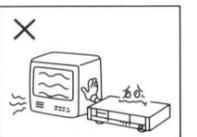
通常はこの出力端子に接続します。この端子に接続した場合、付属のリモコン操作での出力レベルの調整はできません。

### 可変出力端子 (VARIABLE)

付属のリモコンを使って出力レベルを調整するときは、この端子に接続してください。

## 他の機器との設置について

チューナやテレビからできるだけ離してください。本機は、高周波信号を扱っていますので、チューナやテレビに近づけると、チューナやテレビに雑音や画像の乱れが生じる場合があります。このような場合は、本機をチューナやテレビから離してください。

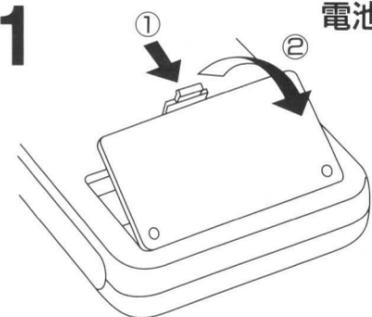


また、チューナやテレビにご使用の室内アンテナの場合も同じ現象になることがありますので、屋外アンテナをご使用ください。

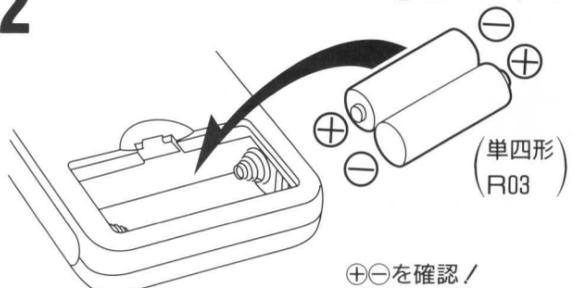
# リモコン操作の準備

## 乾電池の入れかた

### 1 電池ふたを開ける

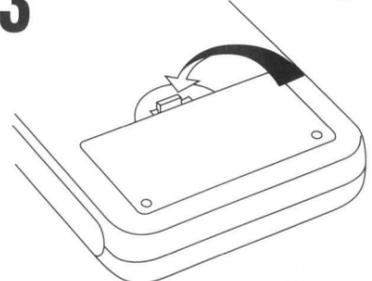


### 2 電池を入れる



⊕⊖を確認 /

### 3 電池ふたを閉じる



## 乾電池について

### ■誤動作や破損・液漏れ防止のために

次のことをお守りください。

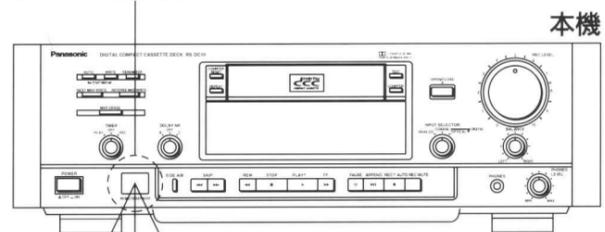
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しない。
- 違う種類（マンガンとアルカリなど）の乾電池は混用しない。
- 充電をしない。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れる。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしない。

### ■寿命は約1年です。

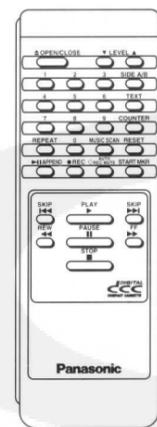
リモコンを本体の近くで操作しても働かないときは、交換してください。

## リモコンの使いかた

### リモコン受光部



正面で約7m  
(使用範囲は角度により  
異なります。)



## ご注意

次のことをお守りください。

- リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- リモコン受光部と発信部のほこりに注意。

# DCCテープについて

## 使用できるテープの種類

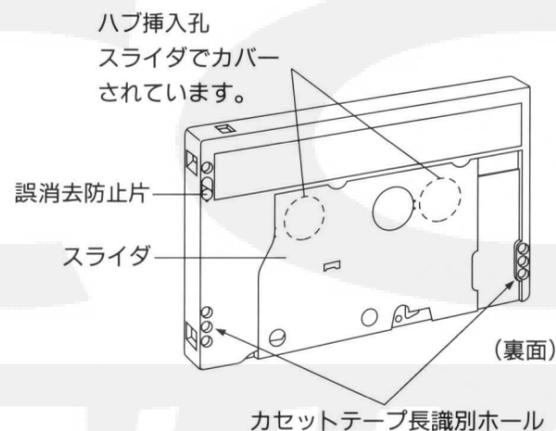
本機では次のテープが使用できます。

- デジタル・コンパクト・カセットテープ (DCC)  
次の2種類があります。  
1. 市販のDCCミュージックテープ……………再生専用  
2. 録音用DCCテープ
- 従来のアナログカセットテープ……………再生専用  
(アナログ・コンパクト・カセットテープ)

## 録音用DCCテープについて

DCCテープは、アナログカセットテープと異なり、テープやハブ孔は、スライダで保護された密閉構造となっています。

本機にローディング（装着）されたとき以外は、デジタル記録に大敵のドロップアウト（信号の欠落）の原因となる、ちりやほこりが入らないようになっています。



録音用DCCテープには、45分、60分、90分用などがあります。

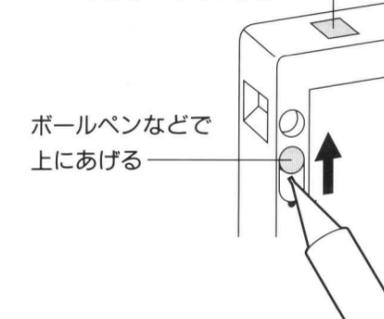
## ご注意

カセットテープ長識別ホールに穴をあけたり、つぶしたりすると誤動作の原因になります。

## 貴重な録音を誤って消さないために

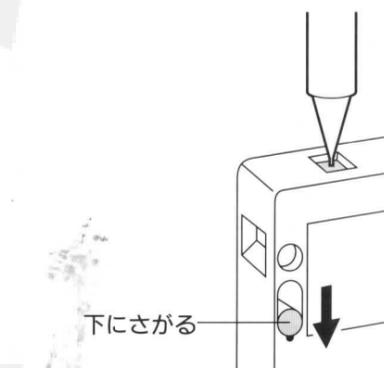
残しておきたい録音済みのテープは、カセット裏面の“誤消去防止片”を図のように閉じる（カセット上側へ動かす）と、録音できなくなり、大切な録音を誤って消してしまうことはありません。

誤消去防止片が閉じると録音できなくなります。



## 再び録音するときは

“誤消去防止片”を開いた（くぼんだ）状態へ戻す。



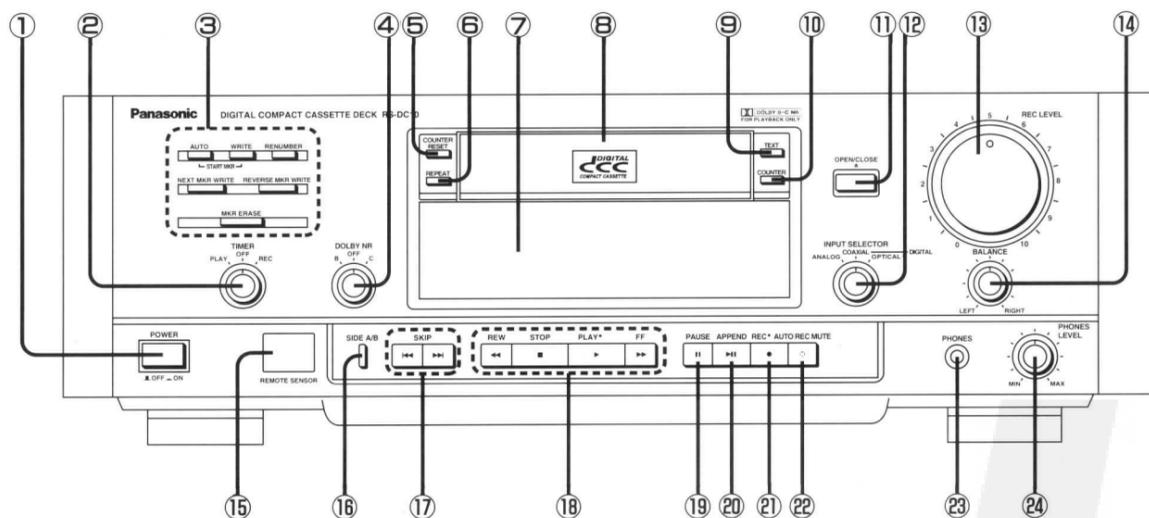
## 取り扱い上のご注意

- カセットのスライダを開け、テープを引き出したり、テープに手を触れないでください。
- カセットを落としたり、ぶついたり、激しい振動を与えないよう、ご注意ください。
- カセットは、裏返して使用することはできません。

## 保管上のご注意

- ケースなどに入れて保管してください。
- 次のようなところに置いたり、保管するのは、避けてください。  
1. 高温（35℃以上）や高湿（80%以上）のところ  
2. 磁気のあるところ（スピーカの近くや、テレビの上など）  
3. 直射日光の当たるところ

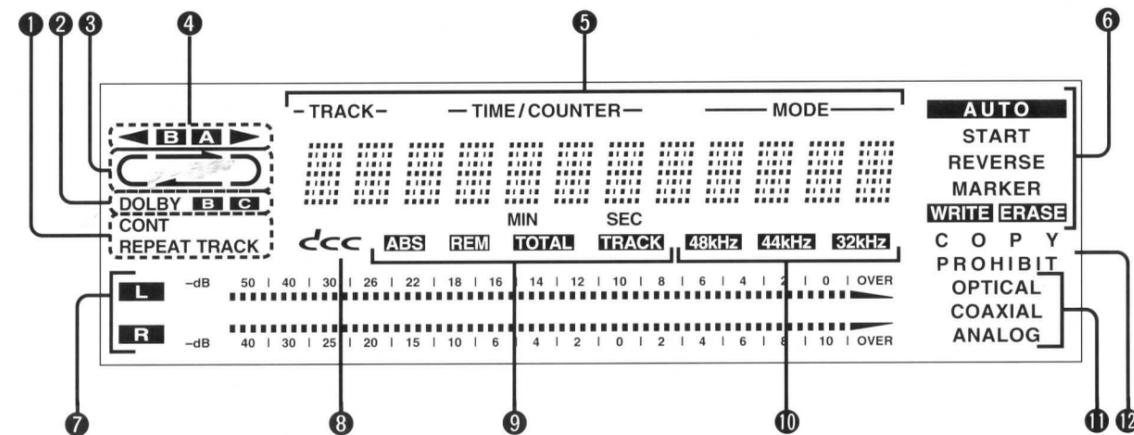
## 操作部



- ①電源スイッチ (POWER)  
市販のタイマーを接続して、好みの時間に再生や録音を始めるときに使用します。
- ②タイマースイッチ (TIMER)  
市販のタイマーを接続して、好みの時間に再生や録音を始めるときに使用します。
- ③マーカ操作部 (32~39ページ参照)  
AUTO START MKR—スタートマーカの記録モードを自動と手動に切り換えます。  
START MKR WRITE—スタートマーカを手動で記録します。  
RENUMBER—曲番訂正時に曲順を付け直します。  
NEXT MKR WRITE—自動的に逆面の始めから再生させるネクストマーカを記録します。  
REVERSE MKR WRITE—A面からB面へ自動的に反転させるリバースマーカを記録します。  
MKR ERASE—記録したマーカを消去します。
- ④ドルビーNR切換つまみ (DOLBY NR)  
再生するアナログカセットテープのドルビーNRの状態に応じてドルビーB/C/OFFを切り換えます。
- ⑤カウンタリセットボタン (COUNTER RESET)  
テープカウンタを「0000」に戻すときに使用します。
- ⑥リピートモード切換ボタン (REPEAT)  
リピートモードを切り換えるときに使用します。
- ⑦ディスプレイ部 (11ページ参照)
- ⑧カセットトレイ
- ⑨テキスト情報切換ボタン (TEXT)  
現在演奏中の曲のタイトルなどの表示を切り換えます。
- ⑩カウンタ切換ボタン (COUNTER)  
テープカウンタの表示モードを切り換えます。
- ⑪カセットトレイ開閉ボタン (OPEN/CLOSE)

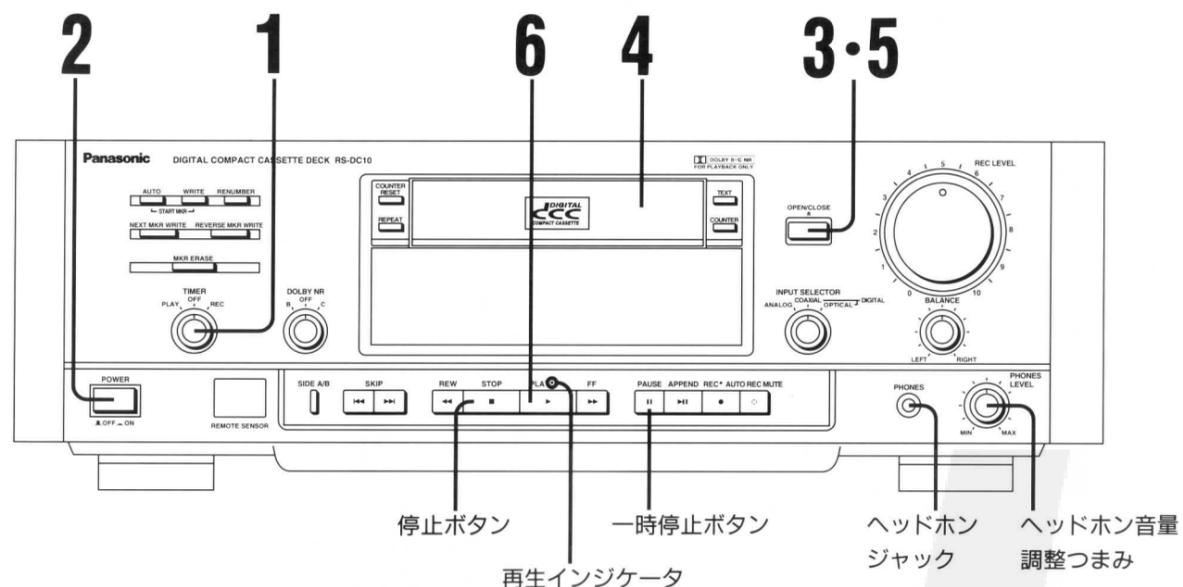
- ⑫入力切換つまみ (INPUT SELECTOR)  
アナログ入力 (ANALOG) / デジタル入力 (COAXIAL/OPTICAL) を切り換えます。
- ⑬録音レベル調整つまみ (REC LEVEL)  
アナログ入力録音時に、録音レベルを調整するときに使用します。
- ⑭バランス調整つまみ (BALANCE)  
アナログ入力録音時に、左右のバランスを調整するときに使用します。
- ⑮リモコン受光部 (REMOTE SENSOR)
- ⑯テープ走行切換ボタン (SIDE A/B)  
テープの走行方向を切り換えます。
- ⑰スキップ選曲ボタン (SKIP) (◀◀ / ▶▶)  
好みの曲へとび越し選曲します。
- ⑱基本操作部  
巻戻しボタン (REW ◀◀)  
停止ボタン (STOP ■)  
再生ボタンとインジケータ (PLAY ▶)  
早送りボタン (FF ▶▶)
- ⑲一時停止ボタン (PAUSE II)
- ⑳つなぎ録音ボタン (APPEND ▶▶II)  
テープの録音部のつなぎめをサーチし、録音待機状態にします。
- ㉑録音ボタンとインジケータ (REC ●)
- ㉒録音ミュートボタン (AUTO REC MUTE ○)  
テープ上に無音部を作るときに使用します。
- ㉓ヘッドホンジャック (PHONES)
- ㉔ヘッドホン音量調整つまみ (PHONES LEVEL)

## ディスプレイ部



- ①リピートモードインジケータ (CONT REPEAT/REPEAT TRACK)  
●CONT REPEAT : 全曲リピート  
●REPEAT TRACK : 演奏中の曲のリピート (DCCのみ)
- ②ドルビーNRインジケータ (DOLBY B C)  
設定したドルビー・ノイズリダクションの種類を表示します。消えているときはノイズリダクション・オフを表します。
- ③リバースモードインジケータ  
リバースモードを表示します。(アナログカセットテープのみ)
- ④テープ走行方向インジケータ (◀ B / A ▶)  
テープの走行方向を表示します。  
(B / A 表示はDCCテープ使用時のみ)
- ⑤テキスト情報/カウンタ表示部  
DCCミュージックテープ再生時に、テキスト情報が表示されます。  
曲番表示 (TRACK)  
再生中または録音中の曲の曲番を表示します。  
タイマー/カウンタ表示 (TIME/COUNTER)  
再生中または録音中の曲の経過時間やテープカウンタなどを表示します。  
モード表示 (MODE)  
現在の動作モードを表示します。
- ⑥マーカインジケータ部  
スタートマーカ自動記録インジケータ (AUTO) : スタートマーカが自動記録の状態になっているときに点灯します。  
スタートマーカインジケータ (START)  
手動でスタートマーカを記録したときやスタートマーカの位置で点灯します。  
リバースマーカインジケータ (REVERSE)  
リバースマーカを記録したときやリバースマーカの位置で点灯します。

- マーカインジケータ (MARKER)  
各種マーカの位置で点灯します。  
マーカ記録インジケータ (WRITE)  
マーカを記録中に点灯します。  
マーカ消去インジケータ (ERASE)  
マーカを消去中に点灯します。
- ⑦レベルメーター  
録音時は入力レベルを、再生時はテープに録音されているレベルを示します。  
DCCテープ使用時は上側、アナログカセットテープ使用時には下側の数値が表示されます。
- ⑧DCCインジケータ (DCC)  
DCCテープ使用時にのみ点灯します。
- ⑨カウンタ表示インジケータ (ABS、REM、TOTAL、TRACK)  
カウンタ切換えボタンに応じて次のように切り換わります。  
ABS : 絶対時間表示 (14ページ参照)  
REM : テープ片面の残量時間  
REM TOTAL : テープの総残量時間  
TRACK : 演奏中の曲の経過時間
- ⑩サンプリング周波数インジケータ (48kHz、44kHz、32kHz)  
デジタル信号の再生、または録音中のサンプリング (標準化) 周波数を表示します。(DCCのみ)
- ⑪入力インジケータ部  
入力切換つまみの設定に応じて次のインジケータが点灯します。  
光入力インジケータ (OPTICAL)  
同軸入力インジケータ (COAXIAL)  
アナログ入力インジケータ (ANALOG)
- ⑫デジタルコピー禁止インジケータ (COPY PROHIBIT)  
デジタル入力時のソースにコピー禁止の信号が含まれている場合に点灯します。



**1** タイマースイッチを「OFF」にする

**2** 電源を入れる

**3** カセットトレイを開ける

**4** カセットテープを入れる  
(右ページ参照)

**5** カセットトレイを閉じる  
カセットテープに記録された情報を読み取る  
(右ページ参照)  
このときテープが少し巻きとられます。

**6** 再生を始める  
再生インジケータが点灯する

NO CASSETTE  
カセットテープが入っていないときに表示します。

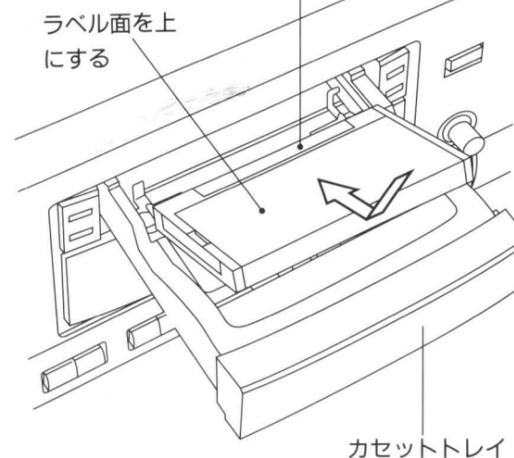
OPEN

CLOSE

READING

MODE  
PLAY

■DCCテープの入れかた  
カセットテープをカセットトレイに入れる。  
カセットテープのスライダを奥にする



ご注意  
カセットテープが正しく入れられていない場合  
次のように表示され、カセットトレイが自動的に開きます。  
カセットテープの向きを確認してもう一度正しく入れ直した後、カセットトレイを閉じてください。

CASS BLOCKED  
(CASSETTE BLOCKED)

■カセットテープを取り出すときは

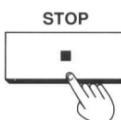


■再生を一時止めるには



再生インジケータが点滅する  
再度始めるときは、再生ボタンを押す

■再生を止めるには



再生インジケータが消える

カセットテープの情報表示について

再生するカセットテープによって、ディスプレイ表示が異なります。

[市販のDCCミュージックテープの場合]

アルバムのタイトル表示

PIANO WORKS

曲番と演奏時間を表示することもあります。

[時間情報が記録された録音用DCCテープの場合]

時間表示

- TRACK - - TIME / COUNTER - - MODE -  
... 3 15 STOP

[時間情報が記録されていない録音用DCCテープの場合]

テープカウンタ表示

- TRACK - - TIME / COUNTER - - MODE -  
... 0000 STOP

ヘッドホンで聞くには

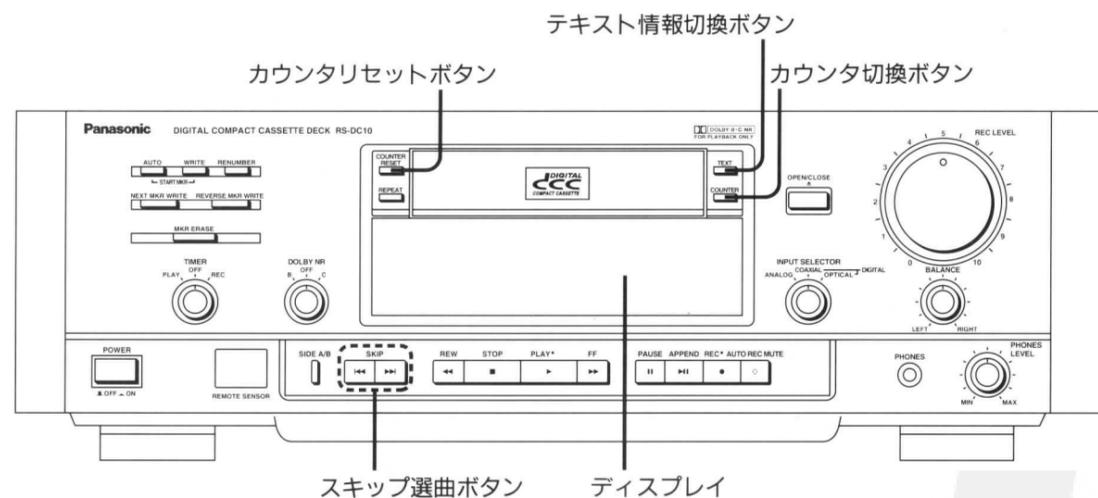


1 ヘッドホン(別売り)を接続する



2 音量を調整する

●耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。



## カウンタ表示

### ■カウンタ表示を切り換えるには



通常は、曲番と演奏経過時間が表示される  
 押す毎に、下の表の順にカウンタ表示が切り換わる

### ■テープカウンタをリセットするには



カウンタ表示が「0000」に戻る

カウンタモード	内容	ディスプレイ
①曲番と演奏経過時間 <b>TRACK</b>	各曲毎に曲の頭からの経過時間を表示します。	
②曲番とテープの絶対時間 <b>ABS</b>	テープの始めから現在録音、または再生されているテープ位置までの経過時間を分/秒で表示します。 録音時に自動的に記録され、テープ位置の確認や聞きたい位置を正確にサーチすることができます。録音時に記録されていないときは表示されません。	
③曲番とテープの総残量時間 <b>REM TOTAL</b>	テープの残量時間で、秒単位で表示します。テープ編集時にテープの残り時間を確認できます。 実際のテープ残量とはずれを生じることがありますので、目安としてご利用ください。	
④曲番とテープカウンタ	テープリールの回転数に対応した数値です。絶対時間が記録されていないときなどに切り換えてください。	

### ご注意

曲番または時間情報が正しく記録されていないとき（テープの途中から録音または再生した場合など）には、時間表示されません。  
 アナログカセットテープの場合は、テープカウンタのみ表示されます。



バー表示される

## テキスト情報の表示

市販のDCCミュージックテープを再生している場合は、テキスト情報を呼び出すことができます。

### \*テキスト情報とは

DCCミュージックテープに記録されたアルバムタイトル、アーティスト名、曲のタイトル、テープの総曲数と総時間などの文字情報のことで、ディスプレイ表示されます。

### ■テキスト情報を切り換えるには



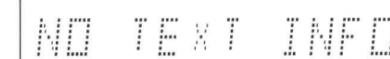
押す毎に、次の順でテキスト情報が切り換わる。

テープから情報検索中は「READING」と表示され、その後テキスト情報が表示されます。

テキストモード	ディスプレイ
①アルバムタイトル	例：アルバムのタイトルが「PIANO WORKS」の場合  最大12文字まで表示されますが、タイトルによっては一部しか表示されない場合があります。
②アーティスト名	例：アーティスト名が「BEETHOVEN」の場合 
③現在演奏中の曲のタイトル	例：曲のタイトルが「MOONLIGHT」の場合 
④テープの総曲数と総時間	例：総曲数が12曲、総時間が43分8秒のテープの場合 

### ご注意

●テキスト情報の記録されていないテープ、またはアナログカセットテープの場合は次のように表示されます。

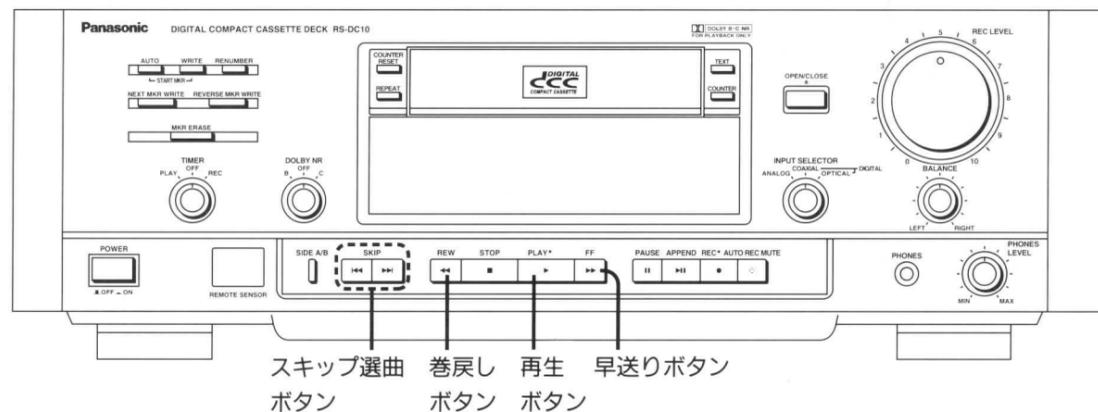


(NO TEXT INFORMATION)

●テープの総時間が正確に読み取れないテープの場合は次のように表示されます。



(NO TOC INFORMATION)



スキップ選曲ボタン  
巻戻しボタン  
再生ボタン  
早送りボタン

## テープを巻戻し・早送りする

停止中に  
REW または FF  
A面とB面でテープ走行方向が異なります。

	巻戻し中	早送り中
A面		
B面		

## 好みの位置を探す (サーチ機能)

再生中に押すと、押し続けている間だけ巻戻し・早送りすることができます。  
サーチ中は再生音は聞こえません。

## 好みの曲へとび越す (スキップ選曲)

\* 曲番が記録されていないテープでも、スタートマーカ(32ページ参照)が記録されていれば働きます。

### ■ 次の曲へとび越すには (前進スキップ)

再生中に  
SKIP  
押す毎に、次の曲の頭へとび越して再生を始める

停止中に  
SKIP  
押す毎に、次の曲の頭へとび越して停止する

### ■ 前の曲へとび越すには (後退スキップ)

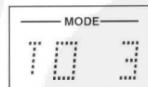
再生中に  
SKIP  
押す毎に、その前の曲の頭へとび越して再生を始める

停止中に

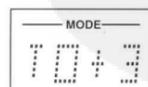
SKIP  
押す毎に、その前の曲の頭へとび越して停止する

### ■ スキップ時のディスプレイ表示

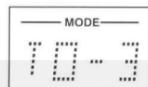
● DCCミュージックテープの場合  
前進スキップで次の曲番に進み後退スキップで前の曲番に戻る



● 曲番が表示されていないDCCテープの場合  
前進スキップ時は、押した回数が「+」で表示される



後退スキップ時は、押した回数が「-」で表示される



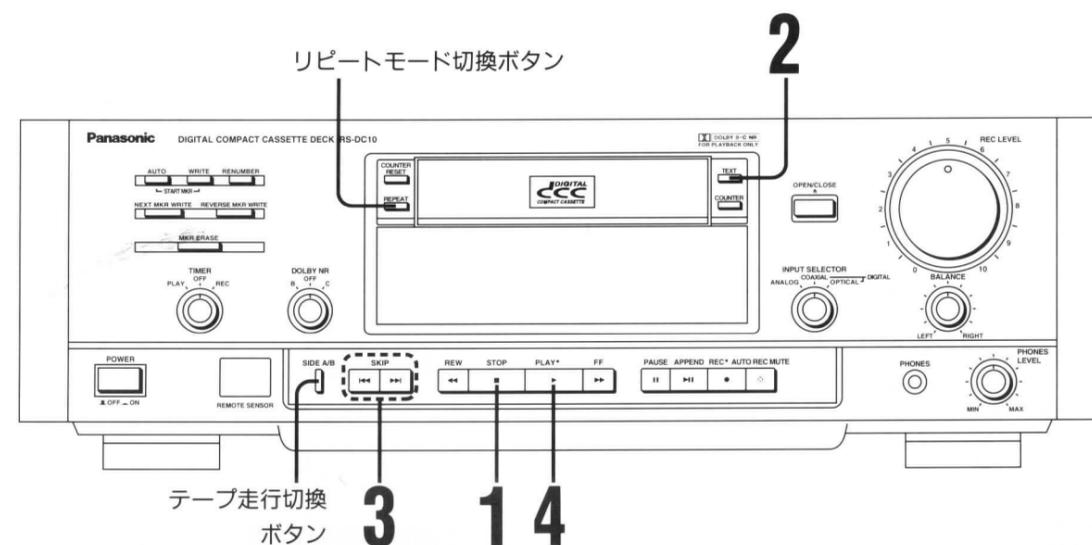
10曲を越えると「TO」表示がなくなります。

## 演奏中の曲の頭から聞き直す (リプレイ機能)

再生中に  
PLAY\*  
現在演奏中の曲の頭へ戻って再生を始める

### ご注意

リーダーテープ部 (時間がバー表示される部分) やリードイン領域 (時間がマイナス表示される部分) では、曲が録音されていないため、サーチ動作が正常に働かないことがあります。(25ページ参照)



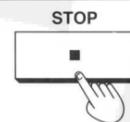
リピートモード切換ボタン

テープ走行切換ボタン

## 曲のタイトルで選曲する (タイトルサーチ)

曲のタイトルをディスプレイ表示して、選曲再生できます。  
\* 市販のDCCミュージックテープでのみ働きます。

### 1 STOP 停止状態にする



### 2 TEXT 「曲のタイトル」表示に切り換える



### 3 SKIP 希望する曲のタイトルを探す



SKIP  
前の曲のタイトル表示

SKIP  
次の曲のタイトル表示

### 4 PLAY\* 指定した曲をサーチした後、再生を開始する



タイトル情報を読みとっていないときは、「READING」と表示し、テキスト情報を読みとった後、タイトルを表示します。

## 繰り返し再生する (リピート再生)

現在演奏中の曲、または全曲を繰り返し再生できます。



現在演奏中の曲を繰り返し再生する……………1回押す

REPEAT TRACK



全曲を繰り返し再生する……………もう一度押す

CONT REPEAT



リピート再生を解除する……………更にもう一度押す

リピートモードインジケータが消える

## テープの走行面を切り換える (リバース機能)



停止中

A面: **A**

B面: **B**

再生中

A面再生: **A** ▶

B面再生: ◀ **B**

通常は両面再生モードに設定されています。片面のみの再生モードは設定できません。

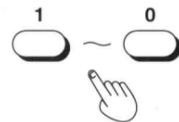
## 好みの曲番から再生する(ダイレクト再生)

\*市販のDCCミュージックテープを再生する場合のみ働きます。  
(録音用DCCテープを再生する場合は動きません。)

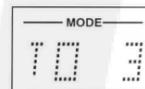
### ■曲番で選曲する

再生中または停止中に

好みの曲番を指定する



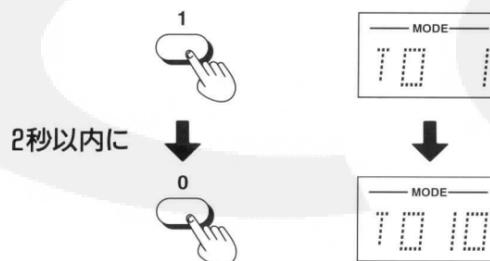
例：曲番3を指定したとき



曲をサーチした後、自動的に再生が始まる

### 曲番10以上の曲を指定するには

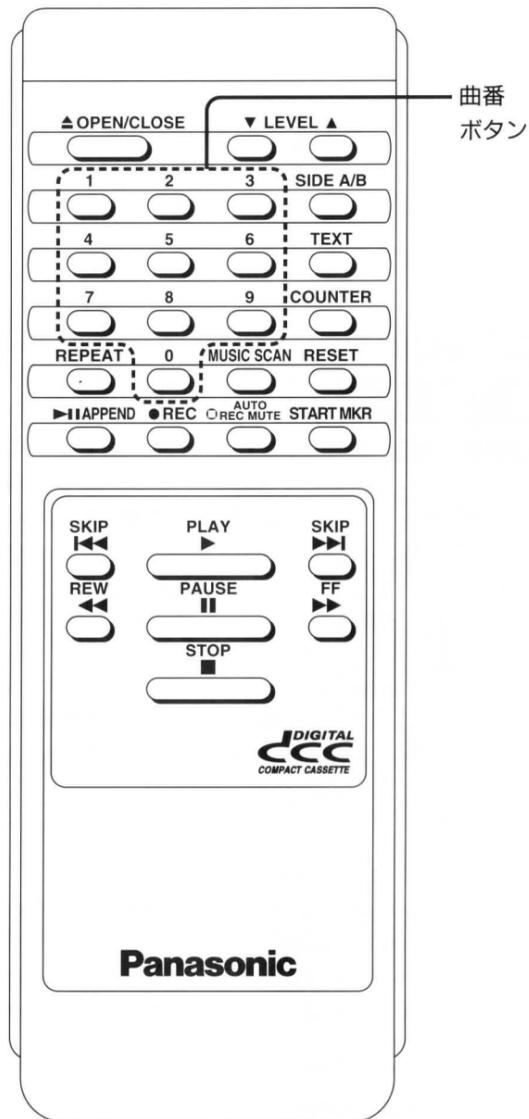
曲番ボタンを使って2桁の数字(曲番)を指定します。  
例えば、曲番10から再生を始めるには



曲をサーチした後、自動的に再生が始まる

ご注意  
カセットテープにない曲番を指定した場合、次のように表示されます。

NOT PRESENT



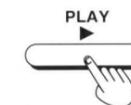
## 曲のイントロを再生する(ミュージック・スキャン)

再生中または停止中に



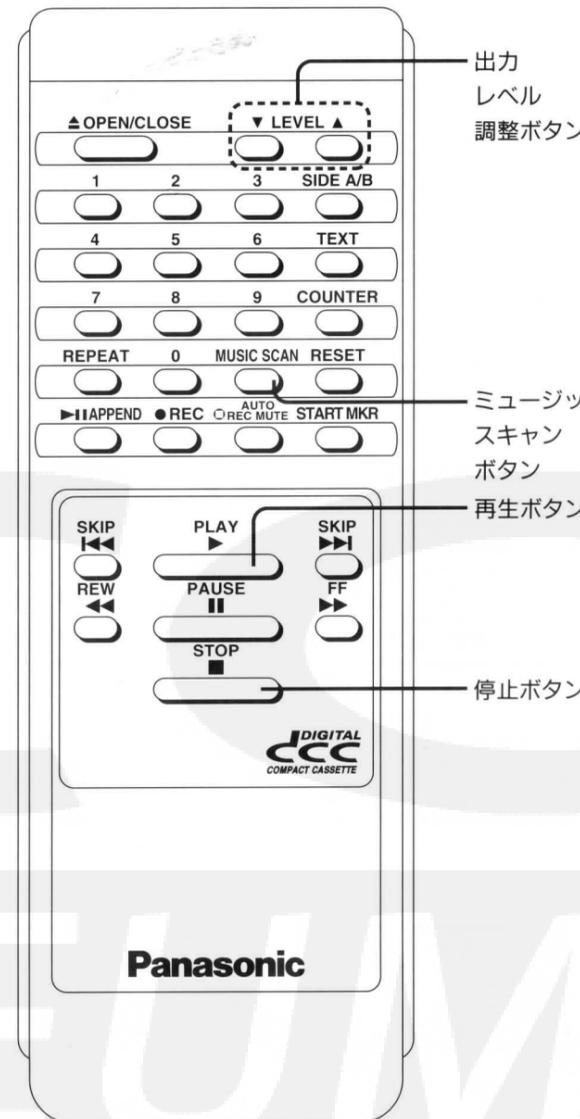
テープに録音されている各曲のイントロを約10秒間再生する。次の曲をサーチする間、再生インジケータが点滅する。

### ■イントロ再生中の曲を再生するには



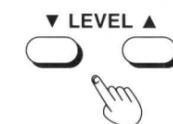
押したときの曲の頭に戻って再生する。

### ■イントロ再生を中止するには



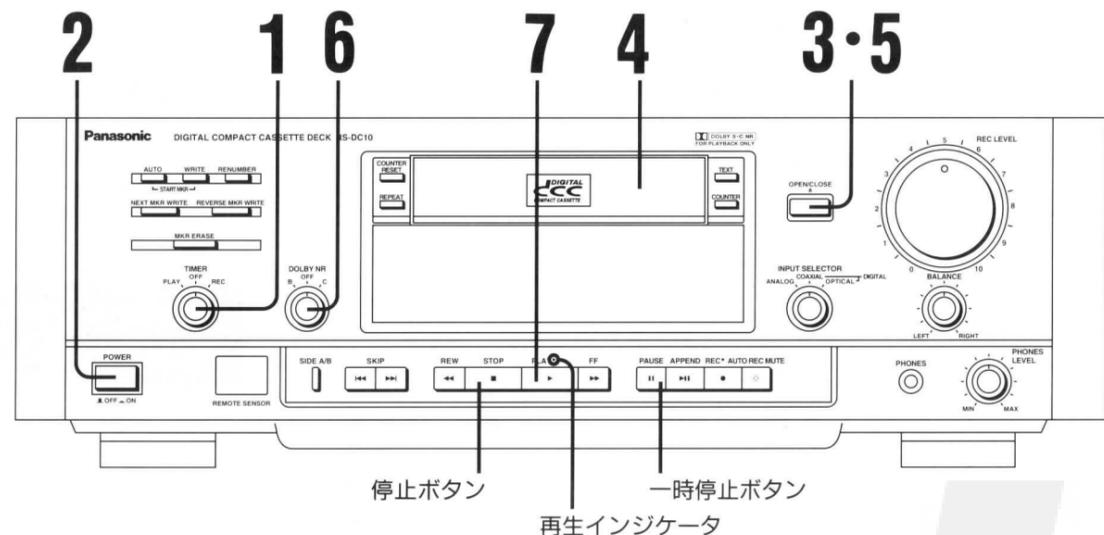
## 出力レベルを調整する

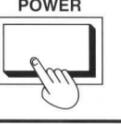
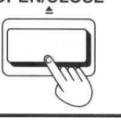
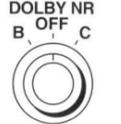
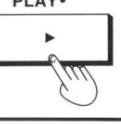
本機のアナログ用可変出力端子( VARIABLE )に接続している場合(7ページ参照)、アンプの音量を調整するかわりに、本機のリモコンで音量を調整することができます。



ヘッドホンの出力レベルは、ヘッドホン音量調整つまみで調整してください。

# アナログカセットテープを再生する

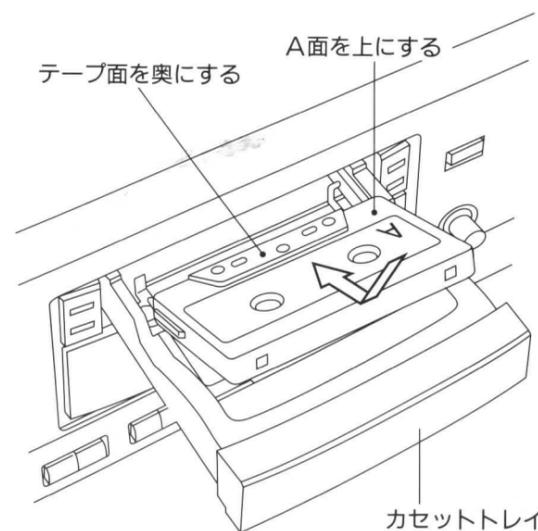


- 1**  タイマースイッチを「OFF」にする
- 2**  電源を入れる
- 3**  カセットトレイを開ける
- 4** カセットテープを入れる  
(右ページ参照)
- 5**  カセットトレイを閉じる
- 6**  ドルビーNRを選ぶ  
設定に応じて DOLBY **B** または **C** が点灯する
- 7**  再生を始める  
再生インジケータが点灯する

ノーマル、クローム、メタルテープが使えます。

# アナログカセットテープを再生する

■アナログカセットテープの入れかた  
カセットテープをカセットトレイに入れる。



ご注意  
カセットテープが正しく入れられていない場合  
次のように表示され、カセットトレイが自動的に開きます。  
カセットテープの向きを確かめてもう一度正しく入れ直した  
後、カセットトレイを閉じてください。

CASS BLOCKED II  
(CASSETTE BLOCKED)

■カセットテープを取り出すときは



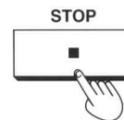
■再生を一時止めるには



MODE PAUSE (PAUSE)

再生インジケータが点滅する  
再度始めるときは、再生ボタン  
を押す

■再生を止めるには



MODE STOP

再生インジケータが消える

テープの走行面を切り換える(リバース機能)



通常は両面再生モード (二つ) に設定されています。  
片面のみの再生モードは設定できません。

ご注意  
B面から再生を始めるときは、カウントダウン表示になりま  
す。

ドルビーNRを設定するには

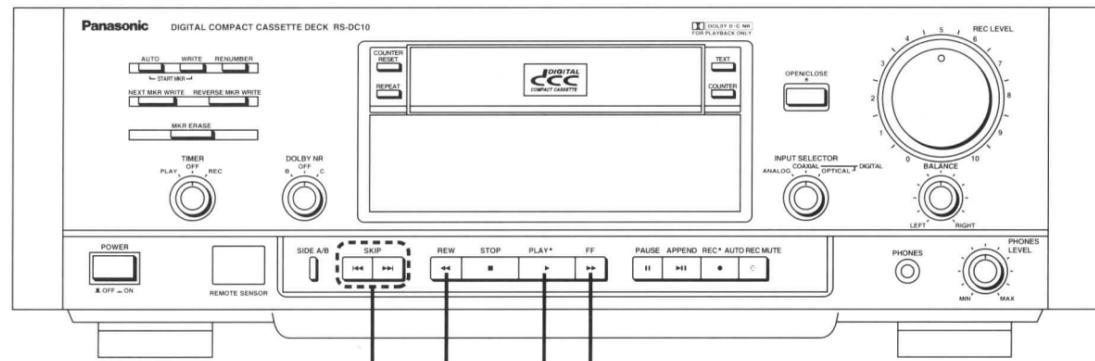
アナログカセットテープを再生する場合は、ドルビーNRシ  
ステムを使うことができます。  
本機はBタイプとCタイプを備えています。録音時と同じタ  
イプのNRシステムを選んでください。

ご注意  
ドルビーNRで録音していないテープを聞くとときは、ドルビ  
ーNR切替つまみを「OFF」に設定してください。

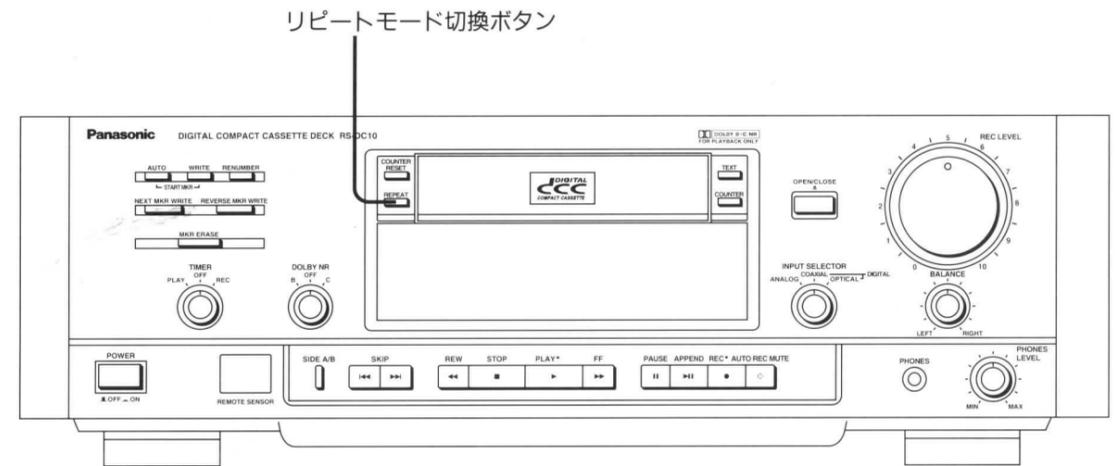
ドルビーNRシステムについて

「サー」というテープ特有のノイズを減らすシステムで  
す。録音時に高い周波数部分のレベルをあげ、再生時  
に元に戻します。  
ドルビーNRの効果は、録音時と再生時に同じタイプを  
使うことによって得られます。  
●ドルビーNR (DOLBY) と表示された市販テープや機器  
はBタイプです。

ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリー  
スライセンシングコーポレーションからの実施権に基  
づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブル  
D記号 DD はドルビーラボラトリースライセンシ  
ングコーポレーションの登録商標です。



スキップ選曲 ボタン  
巻戻し ボタン  
再生 ボタン  
早送りボタン



リピートモード切換ボタン

テープを巻戻し・早送りする

停止中に



A面とB面でテープ走行方向が異なります。

好みの位置を探す(サーチ機能)

再生中に押すと、押し続けている間だけ巻戻し・早送りすることができます。  
サーチ中は再生音は聞こえません。

曲の頭出しをする(TPS機能)

再生中、曲の頭出しをして再生することができます。  
(TPS: Tape Program Sensor)

次の曲の頭出しをするには

再生中に



押す毎に、次の曲の頭へとび越して再生を始める

停止中に



押す毎に、次の曲の頭へとび越して停止する

前の曲の頭出しをするには

再生中に



押す毎に、その前の曲の頭へとび越して再生を始める

停止中に



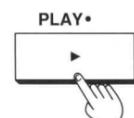
押す毎に、その前の曲の頭へとび越して停止する

次のような場合には、TPSが正しく動作しないことがあります。

- 曲間に雑音があるとき
- 曲間(無音部)が4秒以下のとき
- 曲の中に特にレベルの低いところや無音部があるとき
- 聞いている曲の頭から、または次の曲の頭までが10秒以下のとき
- 曲間がフェードイン・フェードアウト録音されたテープのとき

演奏中の曲の頭から聞き直す(リプレイ機能)

再生中に



現在演奏中の曲の頭へ戻って再生を始める

繰り返し再生する(リピート再生)

アナログカセットテープの場合、全曲の繰り返し再生のみできます。

次のように表示される



リピート再生を解除するには

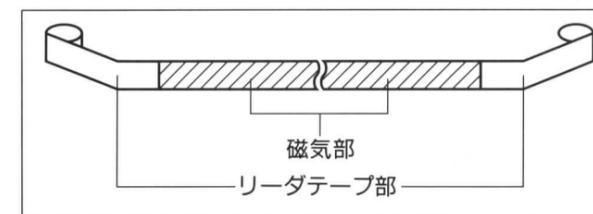
表示が切り換わる



クイックリバース機能

リーダテープ部を検知して、自動的に約1秒で再生方向を切り換える機能です。

- テープ始めのリーダテープ部を検知させないために、再生を始めて約15秒後に機能します。
- クイックリバースが動作しないときは、テープ終端で反転します。
- リーダ部のないテープのときは動きません。
- リーダ部に色がついたテープ、ごみやほこりのついたテープ、磁気部分の薄いテープのとき動作しない場合があります。



アナログカセットテープについて

90分を越えるテープについて

長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

テープのたるみは巻き取ってください。

テープに傷がついたり、切れる原因になります。



テープを保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 高温(35℃以上)や高湿(80%以上)のところ
- 磁気のあるところ(スピーカの近くや、テレビの上など)

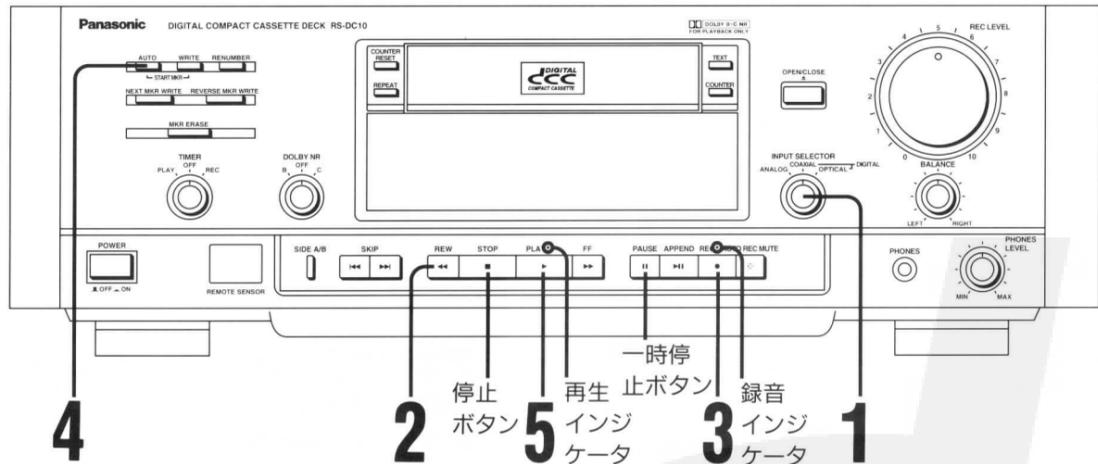
## テープの始めから録音する

CDプレーヤやDATからデジタル録音したり、BSチューナから衛星放送をデジタル信号のまま録音することができます。テープの途中から録音（つなぎ録音）するときは、30ページをご覧ください。

A面録音終了後、自動的にB面に切り換わり録音を続けます。

準備：1. 録音用DCCテープの「誤消去防止片」が録音位置になっているのを確認する（9ページ参照）。

2. カセットテープを入れる（13ページ参照）。



### 1 INPUT SELECTOR 選択する

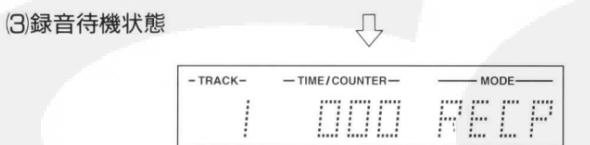
接続に応じて、COAXIALまたはOPTICALに設定する

### 2 REW 巻き戻す

- 絶対時間を正しく記録するため、新しいテープでも必ず一度巻き戻してください。
- 巻き戻した後自動的に停止するまで、他のボタン操作は行わないでください。

### 3 REC・LEAD IN 録音待機状態にする

LEAD INをテープに記録した後、録音待機状態になる（約30秒かかります。）録音インジケータが点灯、再生インジケータが点滅、入力インジケータが点灯

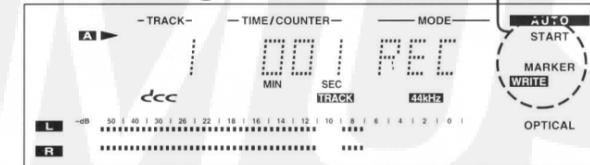


### 4 AUTO 曲番記録モードを選択する

自動曲番記録と手動曲番記録を切り換える（右ページ参照）

### 5 PLAY 録音を始め、録音する

ソースの演奏を始める 約3秒間点灯



録音中、スピーカまたはヘッドホンでモニターできます。

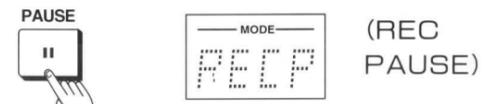
- ご注意
- リードイン領域（テープを巻き戻したときに時間がマイナス表示される部分）には録音できません。（次ページ参照）
  - 録音待機状態でCOAXIALまたはOPTICALの入力インジケータが点滅するときは、再度接続を確認してください。

初めて使用するテープは、必ず巻戻しボタンを押してテープを始めに巻き戻した後、録音ボタンを押してLEAD INをテープに記録してください。

- ご注意
- 録音中は入力ソースの切り換えはできません。
  - デジタル入力録音時は、録音レベル及び録音バランスを調整する必要はありません。
  - 録音中に、カセットの取り出し、テープ面の切り換えなどの操作を行うと次のように表示されます。

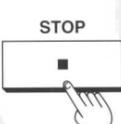


### 録音を一時止めるには



録音インジケータが点灯し、再生インジケータが点滅する。再び録音をするときは、再生ボタンを押す。録音を始めた位置に曲番が追加されます。

### 録音を止めるには



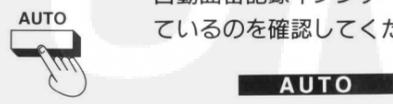
録音インジケータと再生インジケータが消える。録音を停止した位置に、録音部のつなぎめを示すユーズ・アゲインマーカが記録される（33ページ参照）

### 曲番を記録するには

曲番が表示されているときに録音を開始すると、曲番も同時に記録することができます。

### 自動的に曲番を記録するには

自動曲番記録インジケータが点灯しているのを確認してください。



\*電源を入れたときは、自動曲番記録モードになっています。

ご注意  
自動曲番記録は、CDプレーヤ、DAT、または他のDCCから録音する場合にのみ働きます。ただし、一部の機種では働かない場合があります。

### 手動で曲番を記録するには

録音中に自動曲番記録インジケータが消えているのを確認してください。曲番を記録したいところで押す度に曲番が順番に記録される



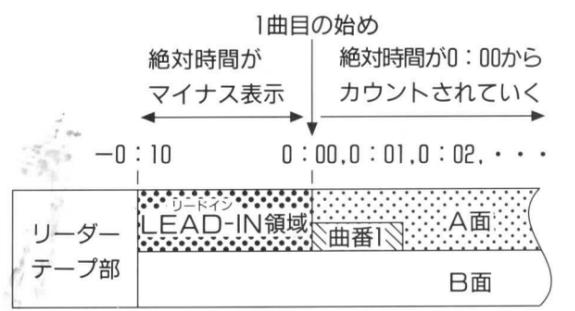
録音中に一時停止ボタンまたは、録音ミュートボタンで一時停止させた後、再生ボタンを押して録音を再開したときは、その位置に曲番が追加されます。

曲番表示は、曲番インジケータで確認できます。



ご参考：  
曲番が表示されていないときはスタートマーカだけが記録されますが、後でリナンバーすることにより曲番を付けることができます（38ページ参照）。

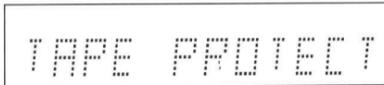
### LEAD-IN領域とは



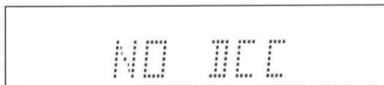
1曲目の始めからデジタル音声信号を確実に再生するため、リーダーテープ部と1曲目の始めとの間に、デジタル信号を記録したテープ区間のことです。本機では、テープを始めに巻き戻すと、リーダーテープ部まで巻き戻されて録音待機状態になり、約10秒のLEAD-IN領域が自動的にテープに記録されます。LEAD-IN領域を記録した後録音待機状態になり、録音できるようになります。

デジタル入力録音のご注意

- 次のテープは録音できません。
  1. 市販のDCCミュージックテープ
  2. 録音禁止状態になっているDCCテープ



- 3. アナログカセットテープ



- デジタルソースが接続されていない、またはソース側の電源が入っていないときは次のように表示されます。



この場合、録音待機状態に戻り、再びデジタル信号が復帰したときに録音を開始します。

CDプレーヤ、DAT、または他のDCCからデジタル信号のまま録音したテープを、もう一度デジタル信号のまま本機に録音することはできません。(47ページ参照。)

サンプリング周波数について

アナログ信号をデジタル信号に置き換えるときのサンプリング周波数として、48kHz、44.1kHz、32kHzの3種類が使われています。

48kHz : アナログ入力で録音されたDATテープ  
衛星放送のBモードなど

44.1kHz : 市販のDCCミュージックテープ  
アナログ録音されたDCCテープ  
CDなど  
(本機の表示は44kHzになっています。)

32kHz : 衛星放送のAモードなど  
入力信号に応じて、サンプリング周波数インジケータの表示が自動的に切り替わります。

アナログ入力で録音する(DCCテープ)

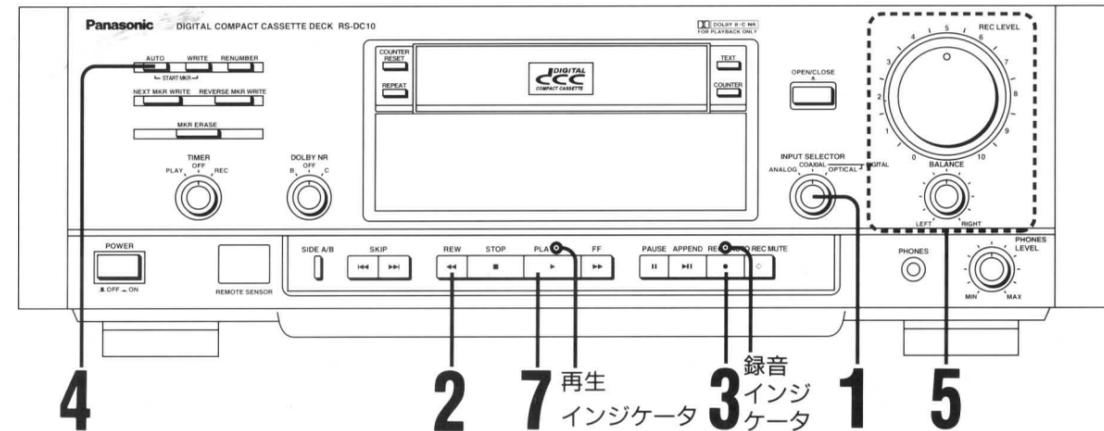
テープの始めから録音する

テープの途中から録音(つなぎ録音)するときには、30ページをご覧ください。

A面録音終了後、自動的にB面に切り換わり録音を続けます。

準備: 1. 録音用DCCテープの「誤消去防止片」が録音位置になっているのを確認する(9ページ参照)。

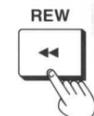
- 2. カセットテープを入れる(13ページ参照)。



1 INPUT SELECTOR ANALOG COAXIAL OPTICAL **アナログ入力にする**



2 REW **A面になっているのを確認し、テープを始めに巻き戻す**

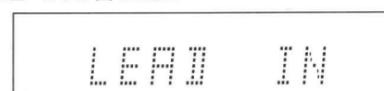


- 絶対時間を正しく記録するため、新しいテープでも必ず一度巻き戻してください。
- 巻き戻した後自動的に停止するまで、他のボタン操作は行わないでください。

3 REC **録音待機状態にする**  
LEAD INをテープに記録した後、録音待機状態になる(約30秒かかります)。  
録音インジケータが点灯  
再生インジケータが点滅  
アナログ入力インジケータが点灯



(1) LEAD INの書き込み



(2) テープの始め

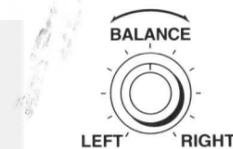


(3) 録音待機状態



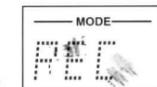
4 AUTO **曲番記録モードを選択する**  
自動曲番記録と手動曲番記録を切り換える  
(25ページ参照)

5 REC LEVEL **録音するソースの演奏を始め、録音レベルを調整する**  
(次ページ参照)



6 **演奏したソースを元へ戻す**

7 PLAY **録音を始め、録音するソースの演奏を始める**



録音インジケータと再生インジケータが点灯する

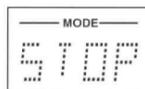
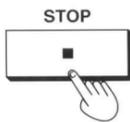
初めて使用するテープは、必ず巻戻しボタンを押してテープを始めに巻き戻した後、録音ボタンを押してLEAD INをテープに記録してください。

■録音を一時止めるには



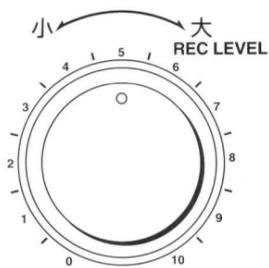
録音インジケータが点灯し、再生インジケータが点滅する  
再度始めるときは、再生ボタンを押す

■録音を止めるには



録音インジケータと再生インジケータが消える

録音レベルを調整するには



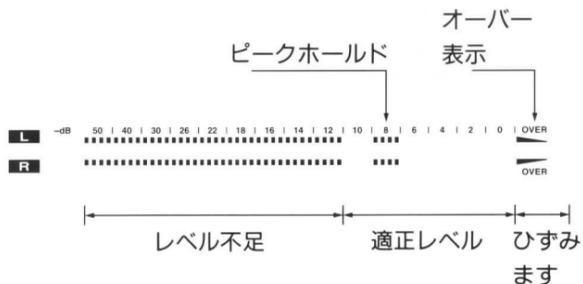
録音レベルを調整する



左右の録音バランスを調整する

ピークレベルメータの表示を見ながら、録音レベル調整つまみをまわし、曲のピーク値でメータが「0dB」を越えず、できるだけ「0dB」の近くまで振れるように調整します。バー表示はピーク値を約1秒間保持(ホールド)しますので、最大入力を知るのに便利です。

ピークレベルメータ



ご注意

「0dB」を越えてオーバー表示がでると、再生時に音がひずみますので、ご注意ください。

アナログ入力録音のご注意

自動曲番記録するとき：

- 録音するソースが無音部にノイズを多く含む場合、無音部が検知されないことがあります。この場合、スタートマーカ(32ページ参照)は記録されません。
- 曲の途中に無音部に近い箇所があると、無音部として検知し、スタートマーカが記録される場合があります。
- 録音開始後、無音部が約3秒間以上続いた後、音が出始めるところで、自動的に曲番及びスタートマーカが記録されます。

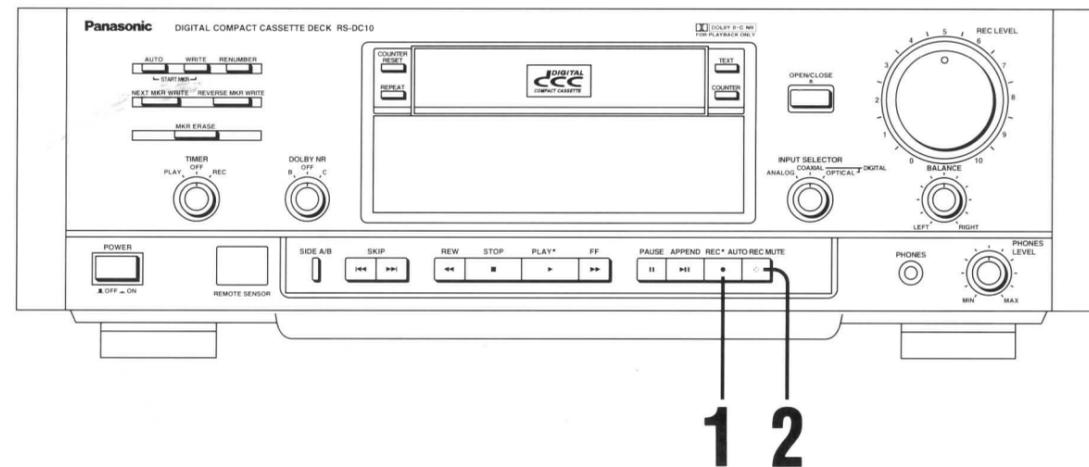
著作権について

- 放送やレコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを、売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部、または、最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本 部	☎(03) 3502-6551
北海道支部	☎(011) 221-5088
盛岡支部	☎(0196) 52-3201
仙台支部	☎(022) 264-2266
大宮支部	☎(048) 643-5461
東京支部	☎(03) 3562-4455
西東京支部	☎(03) 3232-8301
横浜支部	☎(045) 662-6551
静岡支部	☎(054) 254-2621
中部支部	☎(052) 586-1155
北陸支部	☎(0762) 21-3602
京都支部	☎(075) 251-0134
大阪支部	☎(06) 244-0351
神戸支部	☎(078) 322-0561
中国支部	☎(082) 249-6362
四国支部	☎(0878) 21-9191
九州支部	☎(092) 441-2285
鹿児島支部	☎(0992) 24-6211
那覇出張所	☎(098) 863-1228

無音部をつくる

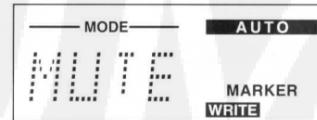


録音を始めたい位置に無音部をつくる

テープの途中から録音するとき、先に録音している部分との区切りを明確にできます。

1 停止中に REC・ 録音待機状態にする

2 AUTO REC MUTE 約3秒間の無音部をつくる



約3秒間インジケータが点灯した後、録音待機状態になる

無音部を記録しても曲番は追加されません。

録音中に無音部をつくる

不要な部分や雑音をカットするときなどに便利です。

録音中に AUTO REC MUTE 約3秒間の無音部をつくる  
無音部をつくった後、録音待機状態になる

■再び録音するには

PLAY・ 録音を開始した曲の頭に曲番が追加される

ご参考：

録音したテープに新たに録音すると、前の録音は自動的に消されます。

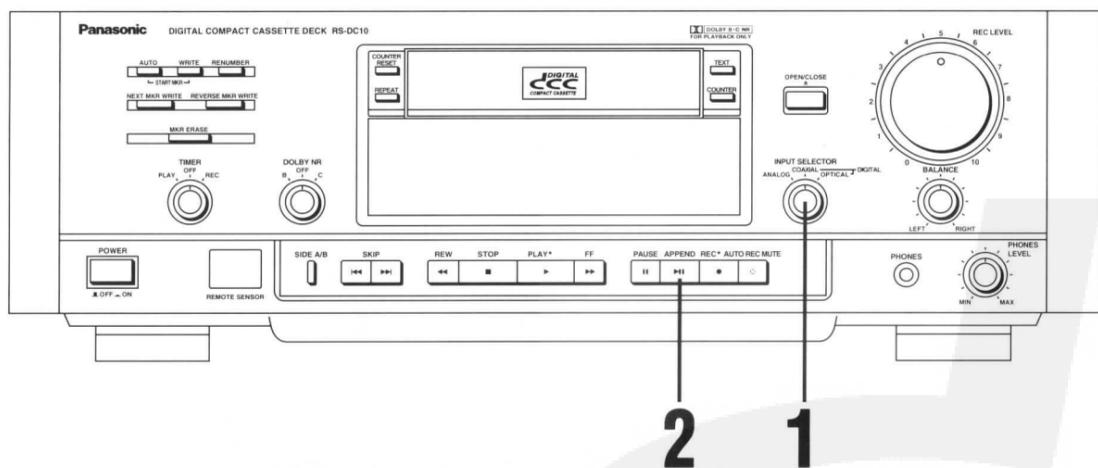
## テープの途中から録音する(つなぎ録音)

テープを早送りまたは巻き戻してつなぎ録音すると、絶対時間が正しく記録されることがあります。つなぎ録音は、テープに記録されているユーズ・アゲインマーカ(33ページ参照)の位置をサーチして、録音待機状態にすることができます。

この方法でつなぎ録音すると、テープに未録音部が残らないので、絶対時間がとぎれずに録音できます。

準備: 1. 録音用DCCテープの「誤消去防止片」が録音位置になっているのを確認する(9ページ参照)。

2. カセットテープを入れる(13ページ参照)。



### 1 INPUT SELECTOR 入力ソースを選ぶ

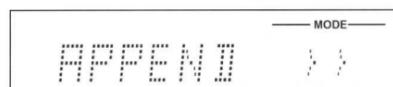


### 2 停止中に APPEND つなぎ録音する位置をサーチする

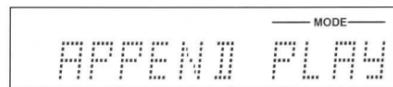


自動的に次の動作を行います。

(1) 前回録音を停止した位置をサーチする。



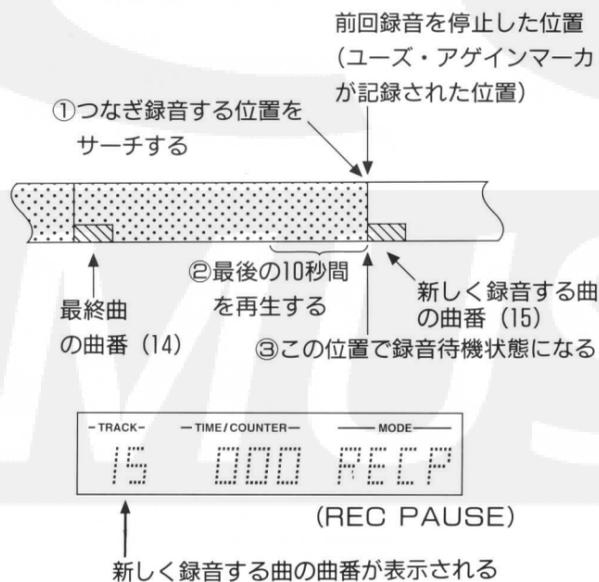
(2) 曲の最後の10秒間を再生する。



〈録音待機状態になる〉

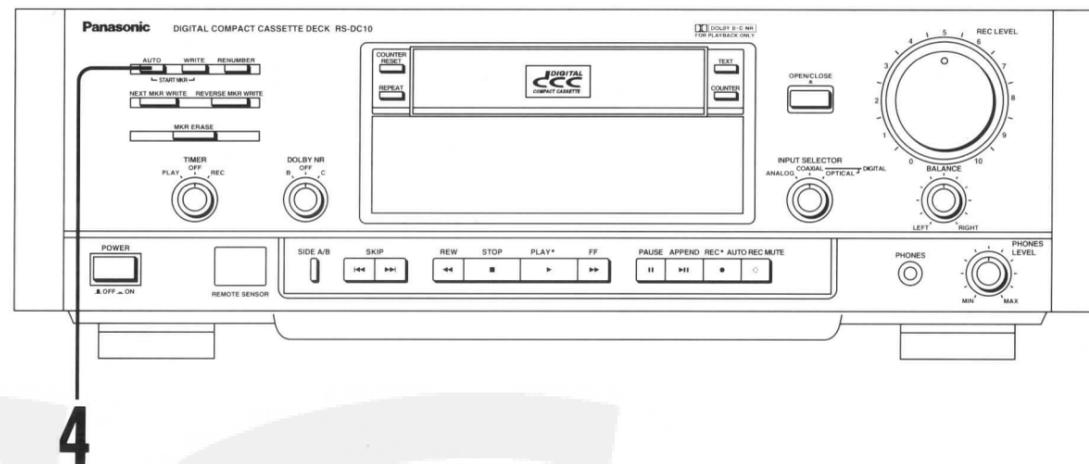
### 3 つなぎ録音する位置を確認する

最終曲の最後の10秒間を再生した後、最終曲の次の曲番で録音待機状態になります。



テープにユーズ・アゲインマーカがいくつも記録されているときは、初めのマーカ位置で録音待機状態になります。

希望した録音開始位置と異なるときは最後の10秒間を再生中、または録音待機状態でもう一度つなぎ録音ボタンを押すと、次に記録されたユーズ・アゲインマーカの位置をサーチできます。

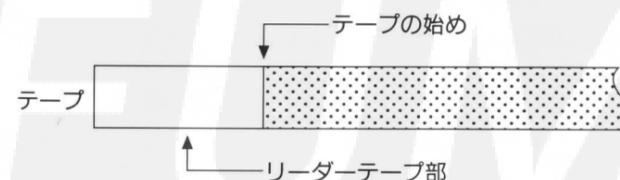


次の場合、テープの始めて録音待機状態になりますのでご注意ください。



曲番1が表示される

1. リーダーテープ部でつなぎ録音ボタンを押したとき



2. テープの走行状態によって、前回録音を停止した位置をサーチできなかったとき(無録音部が長いとき) この場合、B面サーチ後A面に切り換わり1曲目の最初の10秒間を再生した後、録音待機状態になります。

上記1.または2.の場合は、再度つなぎ録音ボタンを押して、最終曲の次の曲番で録音待機状態になっているのを確認してください。

3. テープにユーズ・アゲインマーカが記録されていないとき (この場合、つなぎ録音機能は動作しません。)

### 4 AUTO 曲番記録モードを選択する



自動曲番記録と手動曲番記録を切り換える

### 5 録音を開始する

デジタル入力時は………の5の操作を行う  
アナログ入力時は………の5~7の操作を行なう

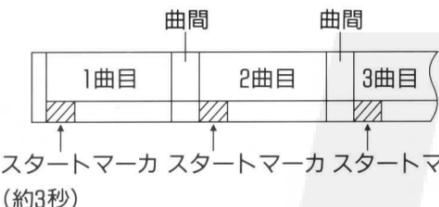
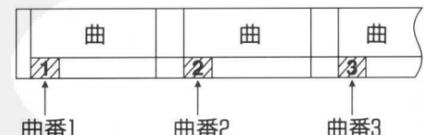
ご参考:  
● 録音待機状態で入力ソースをモニターできます。  
● B面の終わりまで録音したテープでは、サーチ後A面に切り換わり、1曲目の最初の10秒間を再生し、テープの始めで停止します。

DCCには録音に使う音声信号の他に、再生時の選曲や、編集録音に便利なサブコードと呼ばれる信号を記録する機能があります。

## ご注意

- サブコードを記録するときは、録音用DCCテープの誤消去防止片が録音位置になっているのを確認してください。
- 市販のDCCミュージックテープに録音したり、マーカ編集することはできません。

## スタートマーカと曲番

サブコードの種類	主なはたらき	説明	ページ
スタートマーカ 曲の始めを示すマーカです。	曲の頭出しをするのに使います。	各曲の頭に約3秒間記録されます。 (録音用DCCテープの場合) 	24、25
曲番 曲を示す番号です。	スキップ選曲などで好みの曲から再生するときに使います。	録音用DCCテープの場合、スタートマーカの位置に自動的に記録されます。 	25

## スタートマーカと曲番の編集

編集項目	編集内容	ページ
自動記録	録音時にスタートマーカと曲番が自動的に順番に記録されます。 ●デジタル入力時の録音： 入力されたデジタル信号に曲の始めを示す信号が含まれているときに記録されます。 (CDプレーヤ、DATの一部の機種とBSチューナからは、曲の始めを示す信号が出力されていません。) ●アナログ入力時の録音： 無音部(レベルが-60dB以下)が約3秒以上続いた後、音の出始めるところに記録されます。	25 28
手動記録	テープを再生しながら、好みの位置にスタートマーカを手動で記録できます。	36
スタートマーカと曲番の消去	記録されたスタートマーカと曲番を、必要に応じて消去できます。	37
曲番を付け直す (リナンバー)	スタートマーカを記録し直したときなど、曲番をテープの始めから順に自動的につけ直すことができます。	38

## ご注意

録音用DCCテープの場合、曲の途中から再生すると、曲番が表示されないことがあります。

## 編集用マーカ

サブコードの種類	主なはたらき	説明	ページ
リバースマーカ A面の途中からB面に切り換えるマーカです。	●A面のテープの残りが少なくなって、次の曲が最後まで録音できないとき、次の曲をB面に続けて録音することができます。 ●曲の途中からでも録音を中断することなく、B面に続けて録音できます。	B面の曲番と絶対時間はA面から連続して記録されます。 録音中にリバースマーカを記録したときは、マーカがB面に一時的に記録されます。録音終了後必ずリナンバーを行って、マーカをA面に正しく記録し直してください。	34、37 38、39
ネクストマーカ A面の途中からB面の始めに、またはB面の途中からA面の始めに切り換えるマーカです。	A面とB面に別々のアルバムを録音するときに便利です。	B面1曲目は曲番1になり、絶対時間は0:00から記録されます。	35、37、39

## 絶対時間とつなぎ録音

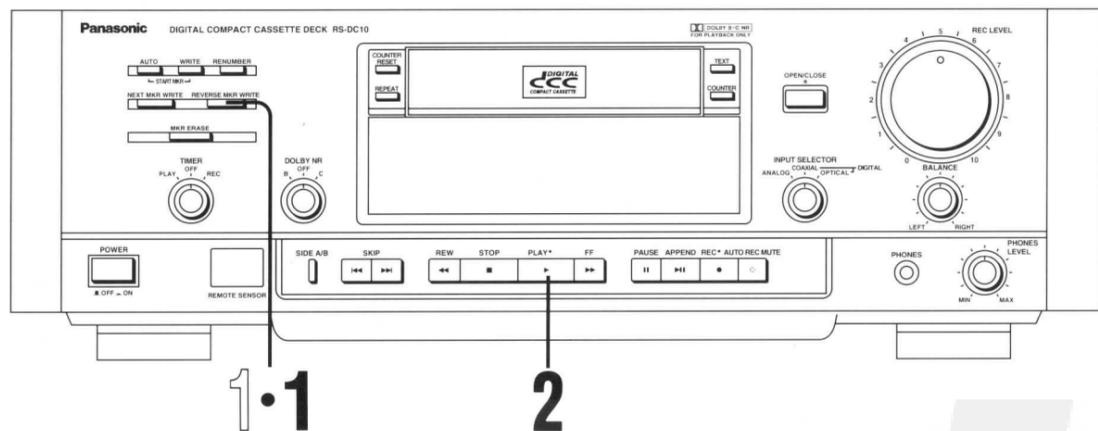
サブコードの種類	主なはたらき	説明	ページ
絶対時間 テープの始めからの経過時間を示します。時間表示や曲番表示に必要です。	テープの位置の確認や聞きたい位置を正確にサーチするときに便利です。	テープを早送りまたは巻き戻してつなぎ録音すると、絶対時間が正しく記録されないことがあります。テープの途中から録音するときは、つなぎ録音ボタンを使って録音してください。(早送りまたは巻き戻し中は、およその時間を表示します。)	14、30
ユーズ・アゲインマーカ 前回録音を停止した位置を示すマーカです。録音を停止した位置に自動的に記録されます。	前回の録音部の終わりを探し出して、つなぎ録音するときに便利です。	つなぎ録音ボタンを押すと、前回録音を停止した位置(ユーズ・アゲインマーカが記録された位置)をサーチし、録音待機状態になります。	25、30、31、37

## 時間表示

サブコードの種類	主なはたらき	説明	ページ
演奏経過時間 1曲毎の曲の始めからの経過時間です。	経過時間によって曲中の聞きたい位置をサーチするのに便利です。	録音用DCCテープの場合、曲の途中から再生すると、演奏経過時間が正しく表示されないことがあります。	14
残量時間 録音時は、A面またはB面のテープ片面の残量時間を表示します。	テープへの録音時、またはリバースマーカ再生時には、テープ両面の総残量時間を表示します。録音時は、A面またはB面のテープ片面の残量時間を表示します。	実際のテープ残量とはずれを生じることがありますので、目安としてご利用ください。	14

- 本機で録音すると、スタートマーカ、曲番、絶対時間、演奏経過時間が自動的に記録されます。
- 絶対時間以外は、一度記録した後、記録し直したり取り消すことができます。
- 市販のDCCミュージックテープには、スタートマーカ、曲番、絶対時間、演奏経過時間、テープの総残量時間などが予め記録されています。

## テープ面を切り換えて録音する (リバースマーカ)



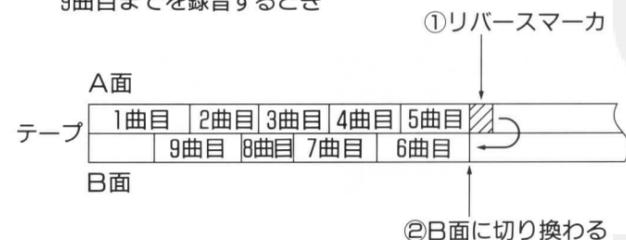
### リバースマーカについて

録音の途中で、テープのA面からB面に切り換えて録音を続けるときに使います。

リバースマーカはA面にのみ記録できます。

再生時にはマーカを記録した位置で、テープ面が自動的に切り換わります。

例：A面に1曲目から5曲目までを録音し、B面に6曲目から9曲目までを録音するとき



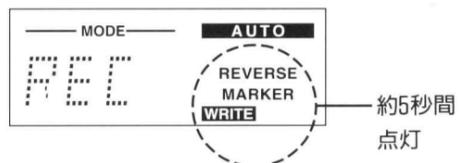
ご参考：

- 曲の途中からB面に続けて録音することもできます。その場合、曲番が追加されます。
- カウンタ表示をテープ片面の残量時間表示にしておくとう便利です。

記録方法には次の2種類があります。

### 1. 録音中に記録する

- 1 A面で録音中に **リバースマーカを記録する**  
REVERSE MKR WRITE  
記録した位置でB面に切り換わり、録音を続ける  
曲番はA面の続きになる

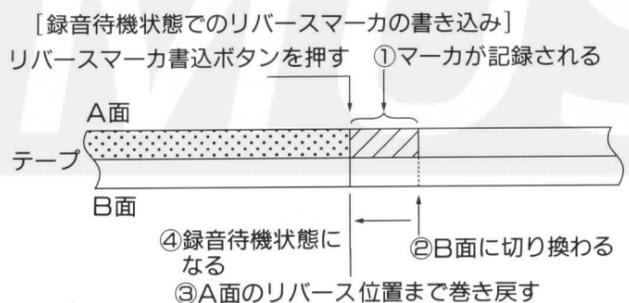


- 2 マーカをA面に正しく記録するため、録音終了後必ずリナンバーを行う (38ページ参照)

### 2. 録音待機状態で記録する

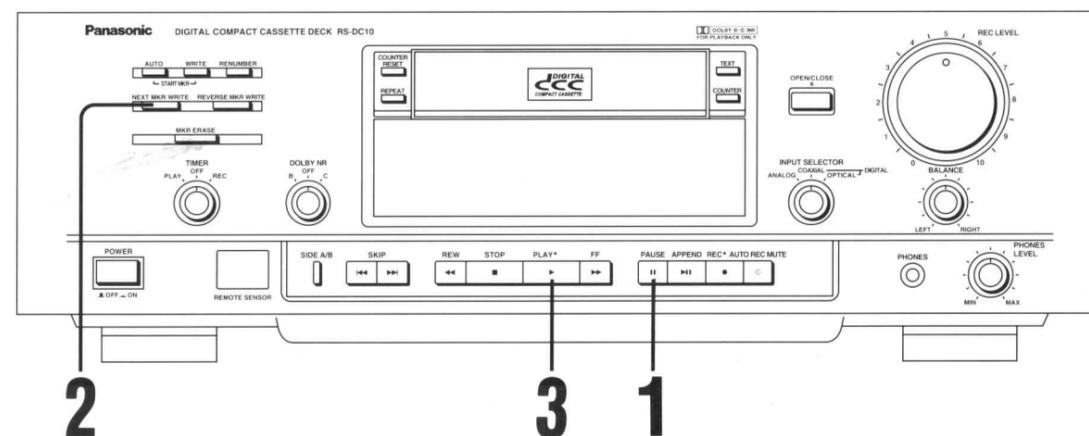
- 1 A面で録音待機中に **リバースマーカを記録する**  
REVERSE MKR WRITE  
リバースマーカが記録された後、B面に切り換わり、録音待機状態になる(下図参照)

- 2 **B面に次の曲を録音する**  
PLAY\*



リバースマーカを記録しないでA面からB面へ続けて録音したとき  
B面に切り換わったときに曲番が1つ追加され、以降の曲番は1つずつ繰り上がります。  
CDなどから録音するときは、B面に記録された曲番が実際の曲番とずれてしまわないように、リバースマーカを使って録音することをお奨めします。

## テープの両面に続けて録音する (ネクストマーカ)

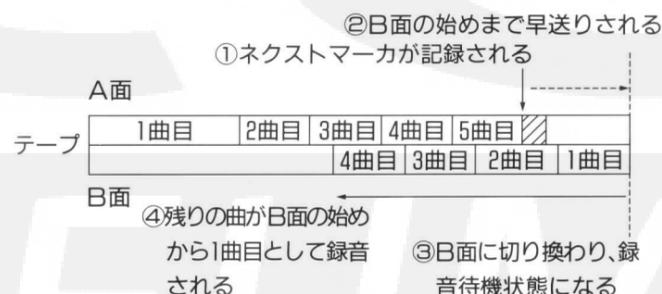


### ネクストマーカについて

ネクストマーカは、録音待機状態でのみ記録され、A面とB面のどちらでも記録できます。(33ページ参照)

A面に記録したときは、再生時にテープを自動的に早送りし、B面の始めから再生します。B面に記録したときは、A面の始めまで早送りした後、停止します。(残っているテープの長さによって多少時間がかかります。)

例：9曲録音するうち、A面に1曲目から5曲目までを録音し、残りの4曲をB面に録音するとき



### ネクストマーカを記録するには

■A面に記録するには

- 1 録音中に **録音待機状態にする**  
PAUSE
- 2 **ネクストマーカを記録する**  
NEXT MKR WRITE  
ネクストマーカが記録された後、B面の始めに早送りされ、録音待機状態になる (右図参照)

[ネクストマーカ編集時の表示 (A面に記録した場合)]



- 3 **B面に次の曲を録音する**  
PLAY\*  
B面1曲目は曲番1になり、絶対時間は0:00から記録される

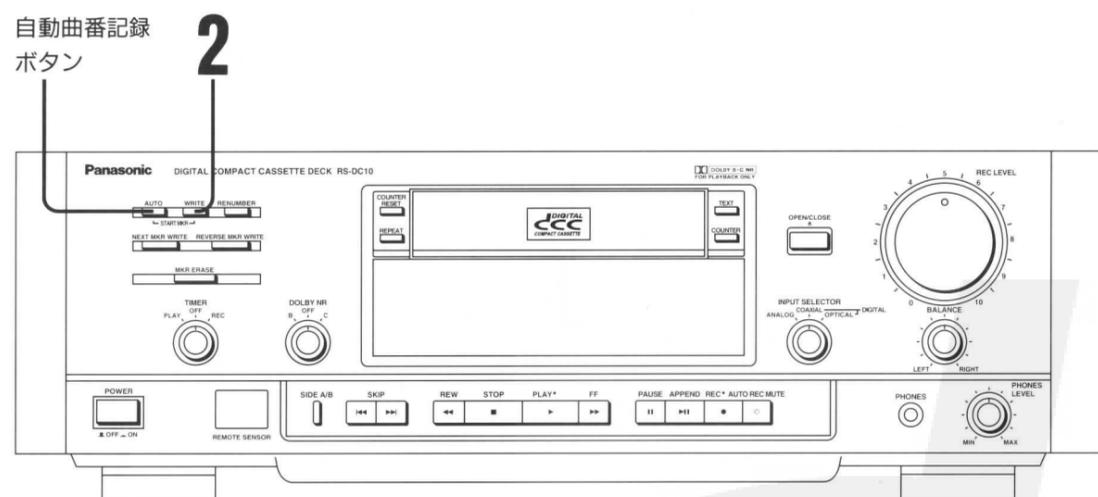
■B面の途中に記録するには

上記1~2の操作を行う  
ネクストマーカが記録された後、A面の始めに早送りされ停止する

## スタートマーカを手動で記録する

テープを再生しながら、好みの位置にスタートマーカを記録できます。

準備：編集用DCCテープの「誤消去防止片」が録音位置になっているのを確認する（9ページ参照）。



### 1 再生しながら 記録したい位置を探す

### 2 スタートマーカを 記録する



押した位置にスタートマーカが記録される



### 3 続けてスタートマーカを記録するときは 1~2の操作を繰り返す

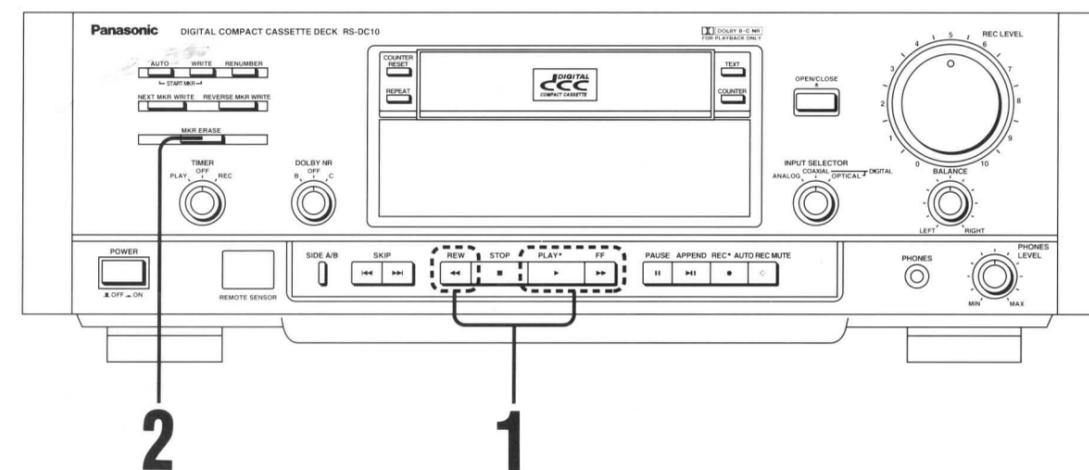
#### ご注意

- DCCミュージックテープには記録できません。
- 不要なスタートマーカが記録されているときは、スタートマーカの手前まで巻き戻し、消去した後、記録したい位置で自動曲番記録ボタンを押してスタートマーカを記録します。
- スタートマーカを手動で記録した場合、曲順が変わりません。新しく曲番を付け直すにはリナンバーを行ってください（38ページ参照）。

## 記録されたマーカを消去する

記録された各種のマーカを必要に応じて消去できます。

準備：編集用DCCテープの「誤消去防止片」が録音位置になっているのを確認する（9ページ参照）。



## スタートマーカ(曲番)の消去

- ### 1 再生しながら 消去したいマーカを探す
- 各マーカが記録された位置になるとそのマーカのインジケータが点灯する

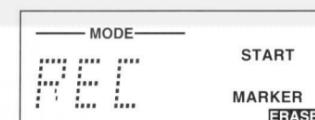


「START MARKER」と表示されたことを確認してください。

### 2 再生中または停止中に マーカを消去する



現在のテープ位置またはボタンを押して2.5秒以内の位置にある最初のマーカを消去する



マーカ消去後、または2.5秒以内にマーカが記録されていなかった場合は、再生または停止状態に戻ります。

### 3 続けてマーカを消去するときは 1~2の操作を繰り返す

マーカ消去中は音楽信号がミュートされますが、録音された音楽信号には影響しません。

#### ご参考：

- 編集したスタートマーカに通し番号を付け直すときはリナンバーを行なってください（38ページ参照）。
- マーカ消去時は、マーカの位置を確認するため、カウンタ表示を絶対時間表示にしておく便利です。

## 編集用マーカの消去

#### ■リバースマーカまたはネクストマーカを消去するには

記録したマーカの1~2秒手前の位置を再生中に、マーカ消去ボタンを押します。

#### ご注意

再生中にリバースマーカまたはネクストマーカの位置になるとB面に反転するため、マーカが消去できなくなります。

#### ■ユーズ・アゲインマーカを消去するには

1. つなぎ録音ボタンを押すと、消去するマーカの手前で録音待機状態になります。

録音待機状態になる前に、曲の最後の10秒間が再生されるので、消去位置を確認してください。

2. 停止ボタンを押した後、マーカ消去ボタンを押します。

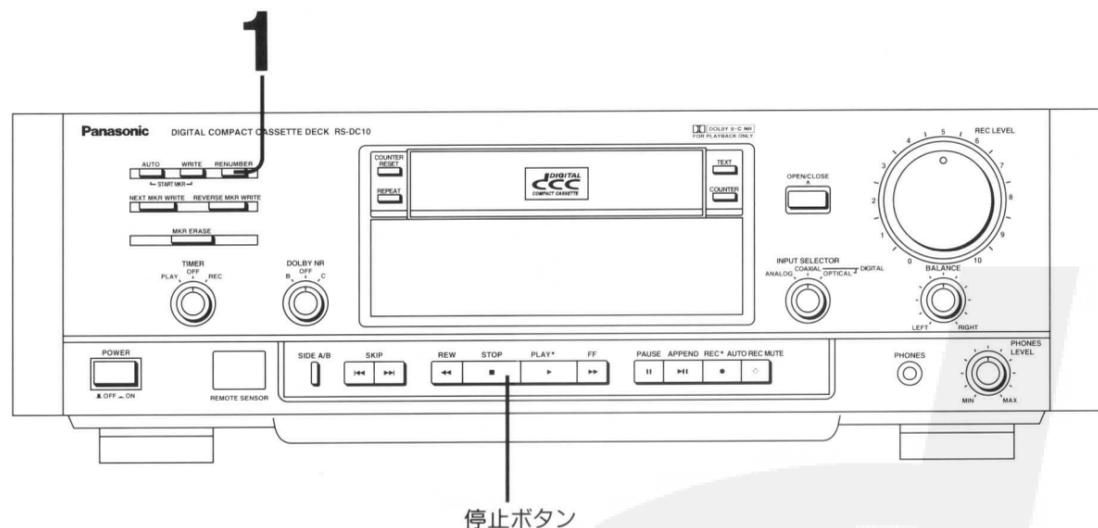
#### ご注意

テープの走行状態によって、一度の消去操作ではマーカが完全に消去できないことがあります。その場合、再度マーカの1~2秒手前の位置を再生中に、マーカ消去ボタンを押してください。

## 編集したスタートマーカに通し番号を付ける(リナンバー)

スタートマーカの追加や消去で曲順が変わったときなど、テープの始めから順番に、スタートマーカの位置に曲番を付け直すことができます。

準備：編集用DCCテープの「誤消去防止片」が録音位置になっているのを確認する(9ページ参照)。



## 1 停止中に



## リナンバーを開始する

A面の始めまでテープが巻き戻され、自動的にスタートマーカをサーチして、1番から順に曲番を付け直す

[リナンバー中の表示]



絶対時間表示になる

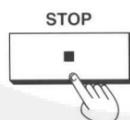
A面のリナンバーが終わると、自動的にテープを早送りし、B面のリナンバーを開始します。

リナンバー中スタートマーカの記録された位置になると曲番を確認し、曲番が正しく記録されていないときは、曲番を付け直す。

曲番の付け直しが終わると、A面の始めまで巻き戻され停止する。

リナンバーを行うことにより、リバースマーカなどが正しく記録されます。

## ■リナンバーを停止するには



## ご注意

- 絶対時間の記録されていないテープでは、リナンバーはできません。リナンバー動作を中断し、停止します。
- スタートマーカとスタートマーカの間が短い場合、リナンバーが正しく働かないことがあります。

## リナンバー動作について

リナンバー時は、テープの編集状態(録音停止位置や記録されたマーカの種類など)によって次のように動作します。

リバースマーカ・ネクストマーカが記録されていないテープ	
テープの途中まで録音した場合	1. 録音を停止した位置(ユーズ・アゲインマーカが記録された位置)でリナンバーを終了する。 2. A面の始めまでテープを巻き戻して停止する。
テープの終わりまで録音した場合	1. A面の終わりまでリナンバーを行う。 2. B面に切り換わり(このとき、曲番が1つ繰り上がり)、リナンバーを続ける。 3. 録音を停止した位置、またはB面の終わりでリナンバーを終了する。 4. A面の始めまでテープを巻き戻して停止する。

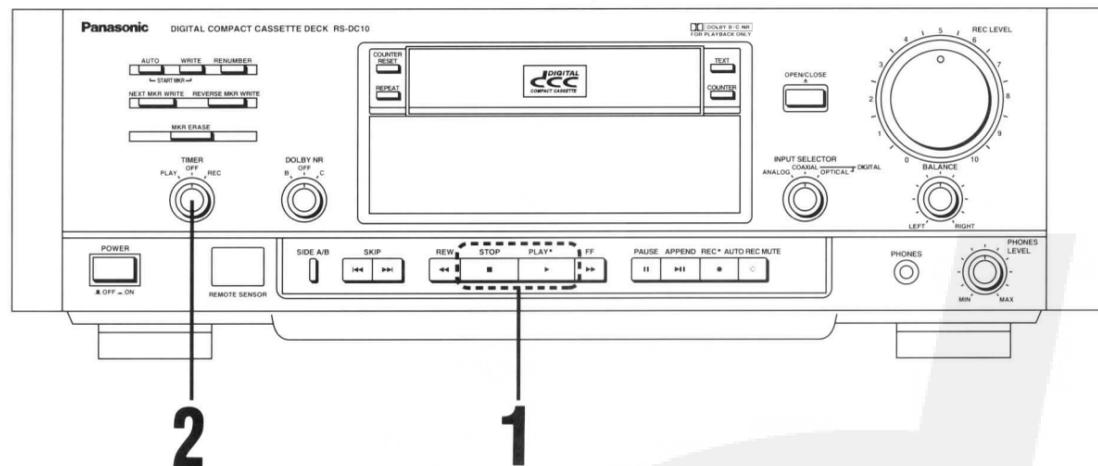
リバースマーカが記録されているテープ	
録音待機中に記録した場合	1. リバースマーカが記録された位置までA面のリナンバーを行う。 2. リバースマーカが記録された位置でB面に切り換わり(このとき、曲番が1つ繰り上がり)、リナンバーを続ける。
録音中に記録した場合	<p>リバースマーカ以降が未録音のテープの場合：</p> <p>1. 未録音の位置までA面のリナンバーを行う。 2. 未録音の位置でB面に切り換わり、リナンバーを続ける。</p> <p>リバースマーカ以降に前回録音した部分が残っているテープの場合：</p> <p>1. リバースマーカ書込ボタンを押した位置を通り越して、A面のリナンバーを行う。 2. A面の終わりまでリナンバーを行うと、B面に切り換わり、リナンバーを続ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●途中でユーズ・アゲインマーカが記録されている場合： その位置でリナンバーを終了する。(この場合、ユーズ・アゲインマーカを消去した後再度リナンバーを行う。)</li> <li>●途中でユーズ・アゲインマーカが記録されている場合： その位置でリナンバーを終了する。(この場合、ユーズ・アゲインマーカを消去した後再度リナンバーを行う。)</li> </ul> <p>3. リバースマーカ書込ボタンを押した位置(B面上)までリナンバーを行うと、A面に切り換わり、その位置にリバースマーカを正しく記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●途中でユーズ・アゲインマーカが記録されている場合： その位置でリナンバーを終了する。(この場合、ユーズ・アゲインマーカを消去した後再度リナンバーを行う。)</li> </ul> <p>4. 再びB面に切り換わり、リナンバーを続ける。</p>
上記いずれの場合も録音を停止した位置(ユーズ・アゲインマーカが記録された位置)、またはB面の終わりでリナンバーを終了し、A面の始めまでテープを巻き戻して停止する。	

ネクストマーカが記録されているテープ	
1. ネクストマーカが記録された位置までA面のリナンバーを行う。 2. ネクストマーカが記録された位置からA面の終わりまで、テープを早送りする。 3. B面に切り換わり、リナンバーを続ける。(B面1曲目は曲番1になる。) 4. 録音を停止した位置、またはB面の終わりでリナンバーを終了する。 5. A面の始めまでテープを巻き戻して停止する。	

市販のオーディオタイマーやタイマー付きチューナと組み合わせて使うと、好みの時刻にテープを再生して目覚し代わりに聞いたり、ラジオ放送の録音を自動的に始めることができます。

## タイマー再生する

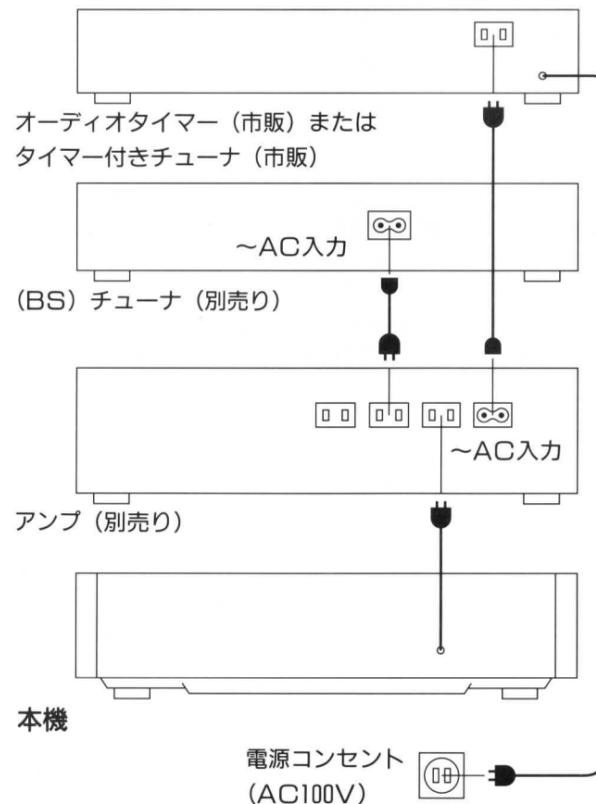
準備：再生用カセットテープを入れる（DCCテープの場合13ページ、アナログカセットテープの場合21ページ参照）。



### 接続のしかた（信号系の接続は省いています。）

各機器の電源コードを下図のように接続してください。（詳しくは、接続するタイマーの説明書もご覧ください。）

電源コンセント



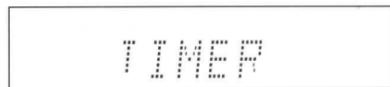
**1** 再生を始め、アンプの音量や音質を調整し、再生を始めたいところで止める

**2** 「PLAY」に設定する  


**3** タイマーを希望の時刻に合わせる  
 本機の電源が切れる

タイマーで指定した時刻になると、本機の電源が入り、自動的に再生が始まります。

[タイマー動作時の表示]



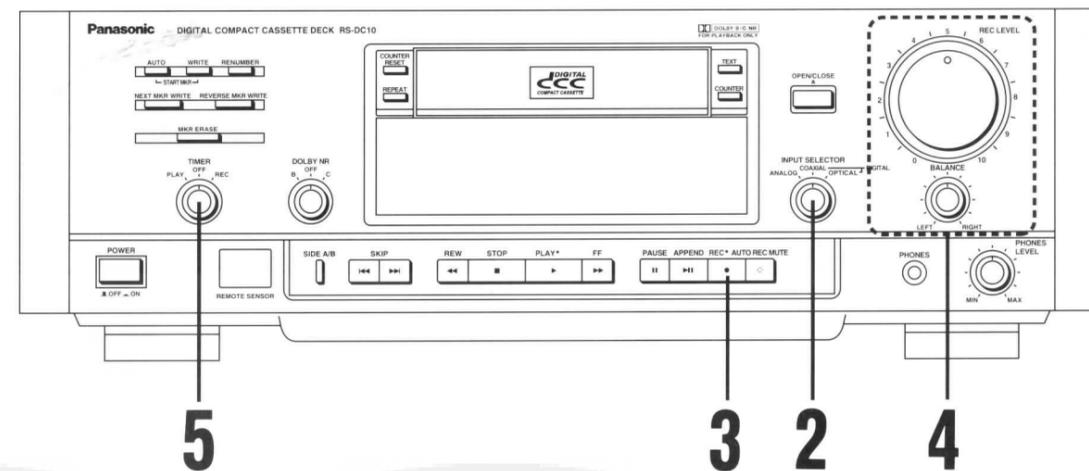
#### ご注意

- タイマーが作動したときに、本機の電源が入るよう、アンプの電源は入れたままにしておいてください。
- タイマー再生時、リピートモードは解除されます。
- タイマー再生が終わった後は、タイマースイッチを「OFF」に戻してください。

## タイマー録音する (DCCテープ)

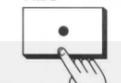
準備：1. 録音用DCCテープの「誤消去防止片」が録音位置になっているのを確認する（9ページ参照）。

2. 録音用DCCテープを入れる（13ページ参照）。

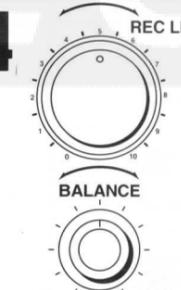


**1** チューナ(BS)で  
録音したい放送局を選ぶ

**2** 入力ソースを選ぶ  


**3** 録音待機状態にする  


初めて使うテープに録音する場合、必ず巻戻しボタンを押してテープを始めに巻き戻した後、録音ボタンを押してリードインを記録し、録音待機状態にしてください。

**4** 録音レベル、録音バランスを調整する  
 （デジタル入力録音時は必要ありません。）  


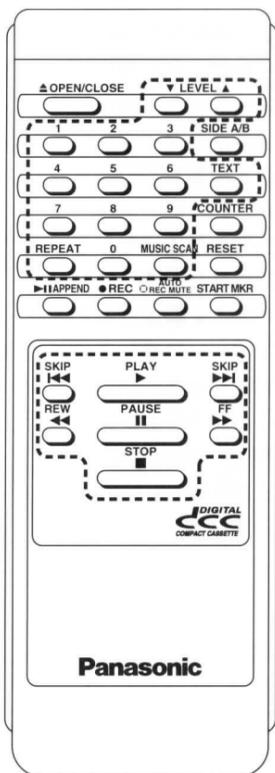
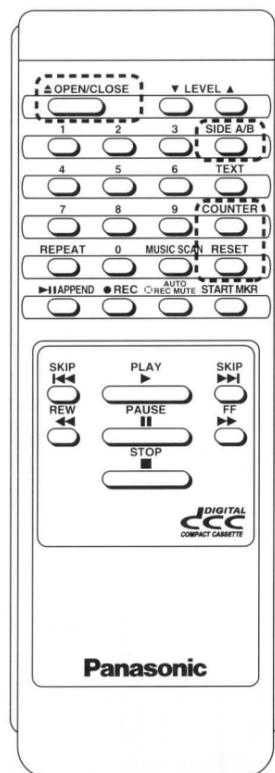
**5** 「REC」に設定する  


**6** タイマーを希望の時刻に合わせる  
 本機の電源が切れる

タイマーで指定した時刻になると、本機に電源が入り、自動的に録音が始まります。

#### ご注意

- タイマー録音の場合は、自動曲番記録モードになります。
- タイマーが作動したときに、本機の電源が入るよう、各機器の電源は入れたままにしておいてください。
- テープの途中からタイマー録音する場合、つなぎ録音ボタンで録音を開始する位置を設定した後、タイマーを設定してください。
- タイマーの電源が入ってから録音を開始するまでの間しばらく時間がかかります。タイマーで時刻を設定するときは、録音開始時間を少し余裕をみて早目に設定してください。
- タイマー録音ではテープの状態により、絶対時間が記録されないことがあります。
- タイマー録音が終わった後は、タイマースイッチを「OFF」に戻してください。

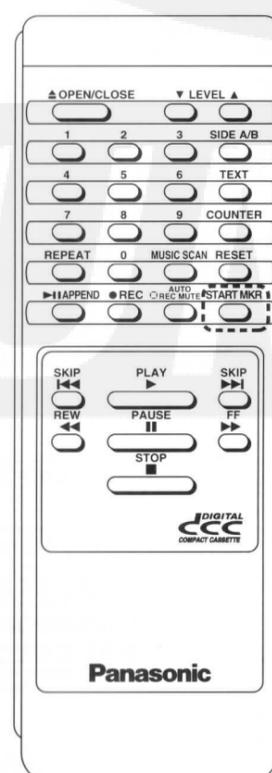
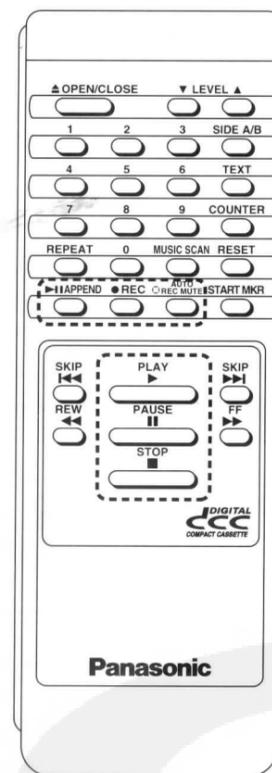


## 共通操作

機能	ボタン	ページ
カセットトレイの開閉	▲OPEN/CLOSE	13
カウンタ表示の切換え	COUNTER	14
テープカウンタのリセット	RESET	14
テープ走行方向の切換え	SIDE A/B	17

## 再生

機能	ボタン	ページ
再生を始める	▶PLAY	12、20
再生の一時停止	⏸PAUSE	13、21
再生の停止	■STOP	13、21
テキスト情報の切換え (DCCミュージックテープのみ)	TEXT	15
リピートモードの切換え	REPEAT	17、23
テープの早送り	▶▶FF	16
テープの巻き戻し	◀◀REW	16
前進スキップ選曲	▶▶SKIP	16
曲のタイトル表示の切換え	▶▶SKIP	16
後退スキップ選曲	◀◀SKIP	16
曲のタイトル表示の切換え	◀◀SKIP	16



機能	ボタン	ページ
曲番を指定する	1 ~ 0	18
曲のイントロ再生	MUSIC SCAN	19
出力レベルの調整	▼LEVEL ▲	19

## 録音

機能	ボタン	ページ
録音を始める	▶PLAY	24、27
録音の一時停止	⏸PAUSE	25、28
録音の停止	■STOP	25、28
録音待機状態にする	●REC	24、27
つなぎ録音する	▶▶IIAPPEND	30
無音部を作る	○REC MUTE	29

## 編集

機能	ボタン	ページ
スタートマーカの 手動記録	START MKR	32

修理を依頼される前に、再度この表と、接続のしかた、及び接続した各機器のつまみ位置をご確認ください。  
 なお、下記の処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お求めの販売店にご相談ください。

症状	主な原因	対策	ページ
電源を入ると、録音や再生状態になる。	●タイマースイッチが「REC」か「PLAY」側になっている。	●停止ボタンを押し、タイマースイッチを「OFF」にしてください。	40、41
テープは走行するが再生音がでない。	●アンプの音量調整つまみが最小位置になっている。	●アンプの音量調整つまみで音量を調整してください。	—
	●アンプのセレクトが「DAT」または、「TAPE」以外の位置になっている。	●本機を接続した側（「DAT」または、「TAPE」）にしてください。	6、7
	●可変出力端子に接続され、レベルが最小に絞られている。	●リモコンでレベル調整してください。	7、19
再生音にノイズやひずみが出る。	●録音レベルが極端に高いか、低く過ぎる。	●適切な録音レベルで再度録音してください。	28
再生音が途切れる。	●ヘッド部が汚れている。	●別売りのクリーニングテープで掃除をし、再度録音してください。	45
	●カセットテープが古くなっている。	●新しいカセットテープを使用してください。	
アナログカセットテープ再生時の音質がおかしい。	●ドルビーNRの切換えがまちがっている。	●ドルビーNRを、録音したときと同じ状態にする。	20
アナログ入力録音ができない。	●録音用DCCテープの誤消去防止片が閉じている。	●誤消去防止片を開いてください。	9
	●ステレオアンプとの接続が間違っている。	●正しく接続してください。	6、7
	●録音レベル調整つまみが「0」位置になっている。	●録音レベル調整つまみで録音（入力）レベルを調整してください。	27
	●デジタル入力状態になっている。	●入力セレクトを切り換えてください。	27
録音用DCCテープに編集できない。	●カセットテープの誤消去防止片が閉じている。	●誤消去防止片を開いてください。	9
デジタル入力録音ができない。	●アナログ入力状態になっている。	●入力セレクトを切り換えてください。	24
	●入力ソースにデジタル信号のまま録音できないことを示す信号が入っている。	●アナログ入力録音に切り換えてください。	27
	●光入力・同軸入力のデジタル切り換えが正しくできていない。	●入力セレクトを正しい方に切り換えてください。	24
サーチ機能が正常に働かない。	●スタートマーカが正しく記録されていない。	●スタートマーカを記録する。	32
曲番や演奏経過時間が正常に表示されない。	●曲番が正しく記録されていない。	●記録したスタートマーカに通し番号を付ける。	38
	●曲の途中でカセットテープを挿入している。	●巻戻しボタンを押し、曲頭に巻き戻す。	16
タイマー再生、録音が作動しなかった。	●接続が間違っている。	●接続のしかたを参考にして正しく接続してください。	40、41
	●タイマー操作が不適切。	●もう一度タイマーの操作方法を確認してください。	
リモコン操作しても正常に作動しない。	●カセットテープが入っていない。	●カセットテープを正しく入れてください。	13、21
	●リモコンの電池が消耗している。	●新しい乾電池と交換してください。	8
	●リモコンの信号が本機まで届いていない。	●距離、方向及び障害物がないか確認し、正しい位置で操作してください。	8

## ヘッド部の掃除について

ヘッド部（テープが接触する部分）に、ほこりやごみが付着すると、録音、再生品質が低下します。  
 別売りのクリーニングテープをお求めいただき、一度、再生操作してください。（品番：RT-CCL）

- 掃除後、再生品質が良くなっても数回の録音、再生ですぐ悪くなる場合は、カセットテープの寿命と考えられますので、新しいカセットテープをご使用ください。
- また、掃除をしても良くならないときは、お求めの販売店にご相談ください。
- クリーニングテープは、録音、再生には使用できません。（クリーニングテープの説明書も合わせてお読みください。）

本機のヘッド部を掃除するときは、必ず別売りのクリーニングテープをご使用ください。

## 消磁機は使用しない



アナログカセットデッキ用の消磁機を使用すると、ヘッド部を破損しますので絶対に使用しないでください。

## 本機の掃除について

（安全のため本機の電源プラグを抜いてください。）

キャビネットの汚れは、柔らかい布でふきとってください。  
 ひどい汚れは、薄い石けん水に柔らかい布を浸し、固く絞ってふきとった後、乾いた布でふいてください。

## ■保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間です。

## 修理を依頼されるとき

本書の「故障!?かな」に従って調べていただき、直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから次の処置をしてください。

- 保証期間中は  
お求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・ご購入日
- 故障または、異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日

- 保証期間が過ぎているときに  
お求めの販売店に、ご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

## アフターサービス等について、おわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にお問い合わせください。

## ■デジタル録音/再生

テープ記録方式	固定ヘッド方式DCC
標準化周波数	
アナログ入力録音時	44.1kHz
再生/デジタル入力録音時	48kHz, 44.1kHz, 32kHz (自動切換)
量子化ビット数	16ビット直線
データ処理方式	PASC
チャンネル数	2チャンネルステレオ

周波数特性	10Hz~20000Hz ±0.2dB
(fs: 48kHz)	10Hz~22000Hz ±0.2dB
(fs: 32kHz)	10Hz~14500Hz ±0.2dB
全高調波ひずみ率	(再生) 0.003%以下
(録音再生)	0.005%以下
ダイナミックレンジ	(再生) 95dB以上
(録音再生)	92dB以上
SN比	(再生) 98dB以上
(録音再生)	92dB以上
チャンネルセパレーション(再生)	95dB以上
(録音再生)	80dB以上
ワウ・フラッタ	測定限界以下

## ■アナログカセットテープ再生

トラック方式	4トラック2チャンネル(ステレオ)
周波数特性(ドルビーNR: off)	
ノーマル	30Hz~15000Hz ±3dB
クローム	30Hz~16000Hz ±3dB
メタル	30Hz~17000Hz ±3dB
SN比(クロームタイプテープ、信号レベル: 250nwb/m)	
NR off	56dB
Dolby B NR on	65dB(CCIR)
Dolby C NR on	74dB(CCIR)
ワウ・フラッタ	0.07%(WRMS)
	±0.12%(W.P. Peak)

## ■入・出力端子

アナログ入力端子	
最小入力レベル	60mV
入力インピーダンス	47kΩ
アナログ出力端子(固定)	
出力レベル	500mV
最大出力レベル	2V
出力インピーダンス	440Ω
可変アナログ出力端子	リモコンにて可変
ヘッドフォン出力端子	
最大出力	30mW+30mW(32Ω負荷)
適合負荷インピーダンス	8~600Ω
デジタル入力端子	同軸75Ω/光(切換スイッチ付)
デジタル出力端子	同軸75Ω/光(パラレル出力)

## ■メカニズム

ヘッド	20チャンネル薄膜ヘッド
テープ駆動方式	シングルキャプスタン駆動(オートリバース)
テープ駆動モータ	キャプスタン: DCサーボモータ
リール台	DCモータ
テープ速度	4.76cm/秒
早巻時間	約100秒(D-60テープ)

## ■総合

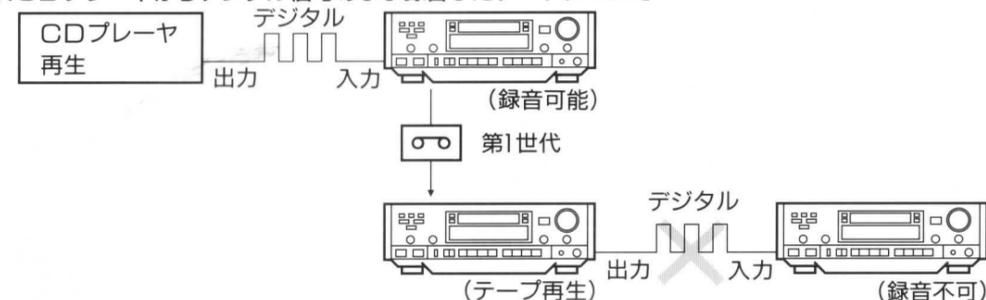
電源	AC100V, 50/60Hz
消費電力	30W
寸法	481×153×341mm
重量	9.6kg

注) この定格は、性能向上のため変更することがあります。

本機は、SCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)に対応したDCCです。

SCMSは、CDやDCCのミュージックテープから一代に限りデジタル信号のまま録音ができるようにし、デジタル信号のまま録音したテープから、無制限にデジタル信号のまま録音すること(シリアル・コピー)はできないようにしています。以下、各ソースを録音した場合について説明します。

### 1. CDプレーヤからデジタル信号のまま録音したテープについて



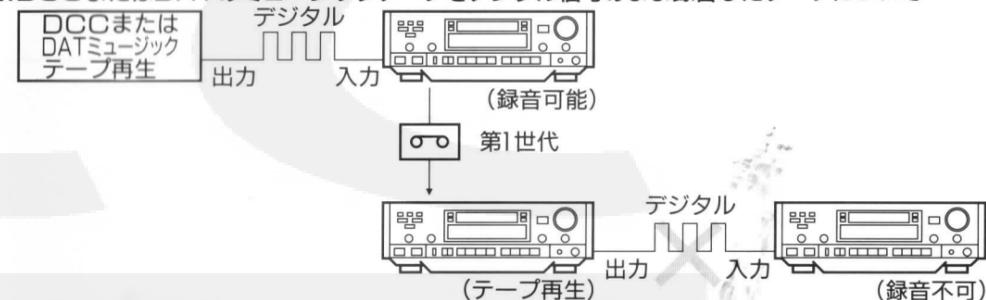
CDから第1世代に限りデジタル信号のまま録音が可能です。

デジタル信号のまま録音した(第1世代の)テープからデジタル信号のまま録音することはできません。

#### ご注意

CDプレーヤからデジタル信号のままDATに録音したDATテープから、DCCにデジタル信号のまま録音はできません。また、CDプレーヤからデジタル信号のままDCCに録音したDCCテープから、DATにデジタル信号のまま録音はできません。すなわち、SCMSは、DATとDCCのように、異なるデジタル録音機器を組み合わせても、無制限にデジタル信号のまま録音することはできないようにしています。

### 2. DCCまたはDATのミュージックテープをデジタル信号のまま録音したテープについて

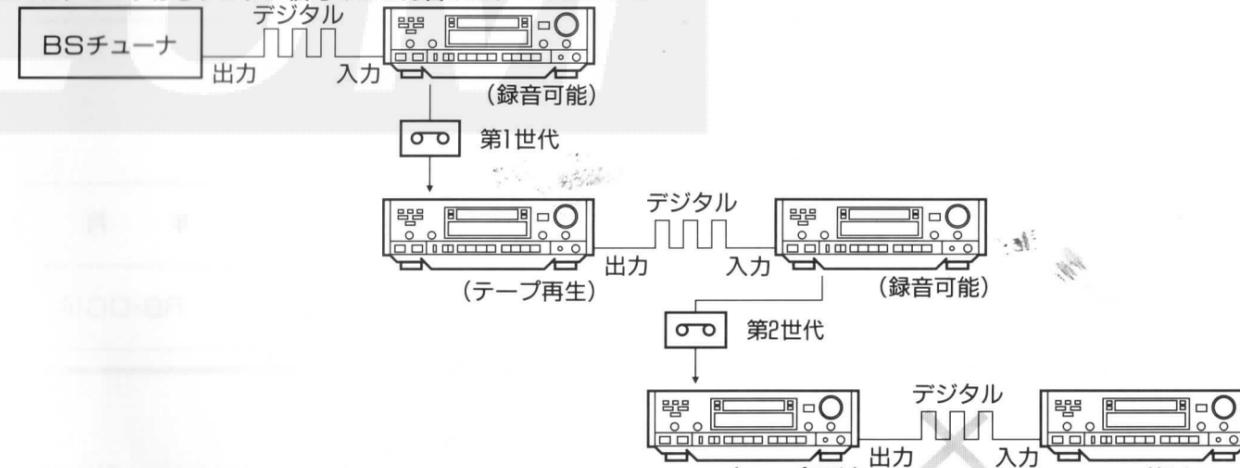


DCCまたはDATミュージックテープから第1世代に限りデジタル信号のまま録音が可能です。

デジタル信号のまま録音した(第1世代の)テープからデジタル信号のまま録音することはできません。

ただし、SCMSに対応していないミュージックテープからはデジタル信号のまま録音できない場合があります。

### 3. BSチューナからデジタル信号のまま録音したテープについて

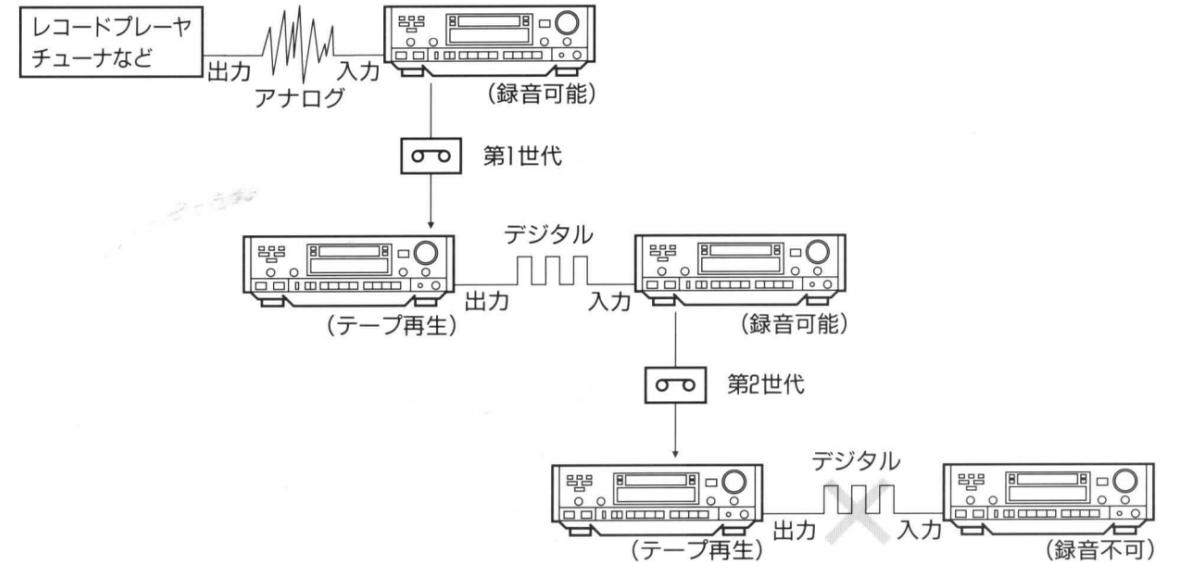


BSチューナから第2世代までデジタル信号のまま録音が可能です。(テープ再生)

ただし、一部のBSチューナはこの原則に当てはまらない場合があります。

# SCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)(つづき)

## 4. アナログ入力端子から録音したテープについて(以後デジタル信号のまま録音した場合)



アナログ録音したテープから第2世代に限りデジタル信号のまま録音が可能です。  
デジタル信号のまま録音した(第2世代の)テープからデジタル信号のまま録音することはできません。

## 5. アナログ入力端子から録音したテープについて(以後アナログ入力から録音した場合)

アナログ入力端子から録音した場合は、従来のカセットデッキと同様に録音の制限はありません。  
従って、デジタル信号のまま録音できない場合も、アナログ入力・出力端子を利用すれば録音が可能です。

### デジタルコピー禁止表示について

次の場合はデジタル信号のまま録音できません。

- すでに一度デジタルコピーされているソースから録音するとき

デジタルコピー禁止インジケータが点灯します。

COPY  
PROHIBIT

- 録音中にコピー禁止信号が入力したとき

SCMS STOP

- 録音待機状態でコピー禁止信号が入力したとき

SCMS

### 便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	電話( ) -	お買い上げ日	年 月 日
お近くの当社 ご相談センター	電話( ) -	品 番	RS-DC10

### 松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021